国立国会図書館
27.3.4
261013

ふね・の・はら（第一上）名「船腹」船ノ腹ノ部分。船ノ一箇所。

ふね・の・ばり（第一上）名「船梁」船ノ横ニ渡シタ梁。

ふね・の・はり（第一上）名「船針」船ノ位置ヲ測ル針。

ふね・の・ばん（第一上）名「船番」船ノ番ヲスル人。

ふね・の・ひと（第一上）名「船人」船ニ乗ル人。船乗リ。

ふね・の・へり（第一上）名「船縁」船ノ縁。

ふね・の・ほ（第一上）名「船帆」船ニ張ル帆。

ふね・の・ま（第一上）名「船間」船ノ中ノ一箇所。

ふね・の・もの（第一上）名「船物」船ニ積ム荷物。

ふね・の・や（第一上）名「船屋」船ヲ入レテ置ク小屋。

ふね・の・やど（第一上）名「船宿」船ヲ繋ギ置ク所。

ふね・の・り（第一上）名「船乗」船ニ乗ル人。船乗リ。

ふね・の・りば（第一上）名「船乗場」船ニ乗ル場所。

ふね・の・わたし（第一上）名「船渡」船デ渡スコト。

ふね・ばた（第一上）名「船旅」船ニ乗ッテ行ク旅。

ふね・ばり（第一上）名「船針」船ノ位置ヲ測ル針。

ふね・ばん（第一上）名「船番」船ノ番ヲスル人。

ふね・ひと（第一上）名「船人」船ニ乗ル人。船乗リ。

ふね・べり（第一上）名「船縁」船ノ縁。

ふね・ほ（第一上）名「船帆」船ニ張ル帆。

ふね・ま（第一上）名「船間」船ノ中ノ一箇所。

ふね・もの（第一上）名「船物」船ニ積ム荷物。

ふね・や（第一上）名「船屋」船ヲ入レテ置ク小屋。

ふね・やど（第一上）名「船宿」船ヲ繋ギ置ク所。

ふね・より（第一上）名「船寄」船ヲ寄セル場所。

ふね

ラ・ヘル（動）他動「下ニ」{…出ス}（二）フリ出シテ紹介ヲ求メル。（三）振リ出シ手形ヲ引受ケテ支払ヲ約スル。

○ふ・る（全平）自動「上ニ」{…ル}（一）古クナル。（二）時代ヲ経ル。

○ふ・る（…）動。ふ（経）ノ変化。

●ふるイ（第二上）形。ふるシノ近体。

ふる・かね（…）名{…ケ}金属ノ器具ノ用ヲ古ルッタモノ。貴賓スル時ノ語。

ふるき（全平）名{…ノ類}初鰹。澄江堂ノ獣。毛蟹。

ふるぎ（第二ギ）（第二上）名{古着}放衣。

●ふるくさイ（第四上）形。ふるくさシノ近体。

ふるくさ・き（第四上）名。フルクサキ。ア古キ。

度々ヒ＝陳腐。

Blik」錫ヲ塗ッタ薄イ鉄板。又、鉄葉。

ふり（全平）名{…ニ通}（第二上）名。{英語'Plush'}天鵞絨ノ一種。普通ノ天鵞絨ヨリ毛ガ長ク、丈夫デ上品デ、座ガシカヌ。下ゲ帯・鞄・鞄ノ裏口布ニ用ヒル。＝レンル。

ふ・らん（全平）名{…ス}（第二上）名。{仏語'Franc'ノ訛}フランス、ベルギー、スイス、ギリシヤ、イタリヤ、仏領西インド諸島ノ銀貨。我ガ二十一銭五厘。

ふらんく（第二上）名。{仏語'Franc'ノ訛}フランス、ベルギー、スイス、ギリシヤ、イタリヤ、仏領西インド諸島ノ銀貨。我ガ二十一銭五厘。

ふらんけ（全平）名。ツギノ略ノ訛リ。

ぶらんけつと（第五通）（第四上）名。{英語'Blanket'}西洋風ノ毛布。＝毯。＝ケット。

ぶらんこ（第二上）名。綱ヲ釣リ身ヲ遊ブ娯楽ノ一種。＝ユサバリ。

◀ぶらんさらん（全平）形。漂泊スル態。

ぶらんでい（…）名{英語'Brandy'ノ転訛}葡萄ノ強イ蒸酎ノ類。＝ブランデー。＝火酒。

ふらんねる（…）名{英語'Flannel'}西洋船ノ帆ニ用ヒル毛織リ。地ハ薄クシテ柔ラカク、洋ノ毛布ノ如シ。＝ネル。

ふり（第二上）名。{風}振リ動ク機{（一）ナリフリ。＝スガタ。（二）様子。＝オモモチ。＝カホツキ。一見スルトふりノ馴染ガ無クテ突然デアルニ・上ふりノ客。上ふりニ演ル。}身回リ大キク、髷ノ根ニ尺ノヲ占メ、其上ニ尺ノヲ置キ、又其上ニ尺ノヲ置キ、又其上ニ尺ノヲ置キ、又

ふるい (……)(……)形。〔古る也〕 昔ノ古ルビヲ云フ。

ふるいこと (……)(第二コ)(第二上)名。〔……事〕 ヨ

ふるいさ (第二上)名。 フルクアル度合ヒ。

ふるいむかし (……)(第二上)名。〔古ル昔〕 (一)古跡。(二)故郷。═昔里。(三)前住ンダ地。

ふるいん (第二上)形。〔第═古═故〕ルこと (一)古ニテアル。(二)多ク時代ヲ歴テル。(三)〔例〕こと 新シクナイ。

◀ふるしき (全平)名。 ふるしきノ能リ。

ふるす (第二上)他動四段。 (一)フルクスル。(二)忘レル。═捨テル。

ふるだうぐ (第三ド)〔第五グ〕(第三上)名。 用ヰ古ルンダ道具。═骨董。 ═血。═赤血。

ふるもの (第二上)名。〔……血〕 穢物ヲ含ンダ物

ふるて (全平)名。〔……手〕〔てハ(布巾)ノ義〕 (一)着替ルンダ衣類ニ。═フルギ。(二)用ヰ替ルンダ綱ノ度(衣類ニ)。

○ふるどし (第一上)名。〔歳ル年〕 (一)年ニ對シ今廻ルベキ年ノ稱。

ふるどり (全平)名。〔雀〕 一百ト分ケテ、淡字ノ旁ノ「隹」ノ字ヲ雌雄ノ類。

ふるひ (第二イ)(……)名。 ◉(震)ふるひ ベテ、フルフコト。◉(震)〔前ノ轉〕振ルンダ細大漏シ分ケル事。曲ゲ物ノ底ニ目ヲ編ンダ物ヲ張ル。

ふるびる (第三上)名。 古ルビタ體。═古色。

ふるひつく (第三イ)(第五上)自動四段。 (一)身ガ竦ダンク震ヘル。(二)我ガンク愛スルヤドデアル。

●ふるびる (第三上)自動一段。 ふるビノ近體。

ふるふ (第三ク)(全平)自動四段。〔震〕ふるふ 〔震ルノ近體〕 (一)恐レナドデ身ノ震ヘル。(二)震ヒ動ク。(三)震ヒ動ク勢ヒガ出ル。(四)激ガ激ヨル。

ふるふ (……)(……)他動四段。 ◉(振)ふるフ (……)(……)〔振ルノ延〕 スベテ、ふるふヤウニスル。◉(振)〔振ルノ轉〕 前ノ轉ノ體ヒデ物ヲ振ス。

ふるまひ (第二上)自動一上二。 古ルクナル。

●ふるまふ (第一上)副。 (一)強ヒテ、恐レ等デ身ノ震フ體。═ワナナク。(二)戦戦。(三)スベテ體ノ震ヘルノ體。═ふるふるシンダ葛藤。

●ふるまる (……)副。 ブルブル。

ふるまん (全平)名。 用ヰ替ルンダ書物類ノ實ニ。═故事。

ふるめかす (第四イ)(全平)名。 (一)スベテ振ルノ舞フコト。═行爲。═擧動。(二)態度。

ふるまふ (第四ウ)(全平)自動四段。〔振ルノ轉〕 行ナフ。 ═ス。═走ヲスル。

ふるまふ (……)(……)他動四段。〔……〕 モテナス。

○ふるめく (第二上)自動四段。 フルビル。

ふるめかす (全平)名。〔……類〕 俗語。部門。

ふれ (第二上)名。 官ナドカラ普ク世ニフレ告グルコト。═告示。═布示。

ふれい (全平)名。〔不例〕 例ノ如クデナイコト。病ダレコト(貴人ニ)。 ═失フコト。═ブシツケ。

ぶれい (第一上)名。〔無禮〕 俗語。禮儀ヲ缺ク事ノ義。 俗語。轉ミテナイコト。═行儀。═動作。(二)態度。 ═無禮。═非禮。

ぶれいかぎり (第三ガ)(第四上)名。〔……限リ〕 無禮ノ文言。 ═禮ヲ缺ク仕ヘル役。

ふれがしら (……)(第三上)名。〔……頭〕 觸レ頭ノ事。

ふれこだて (第四上)名。〔……下〕 前ノ配下。

ふれながし (第四カ)(全平)名。〔……流シ〕 觸レヲ傳ヘルコト。 ═レル。═サバル。

ふれば (第四ウ)(第三上)自動四段。 觸レ

●ふれる (全平)動一。 ふる(狂)(觸)ノ近體。

ふれる (第二上)動一。 ふる(狗)ノ近體。

ふろ (第一上)名。〔風呂〕 俗語。湯ノ釜。 ═ノ一方ヲ風ヲ入レル。

ふろ (第二上)名。〔……呂〕〔前ノ轉〕 (一)浴場ヲ沸カス處。═ユフヂ。═浴槽(共風呂ニ)。風呂場。═蒸殿。(三)湯屋ヲ業トスル人ノ稱。═蒸風呂。(四)湯殿ヲ總メテ

ふろく (全平)名。〔不錄〕 俗語。

ふろく (……)名。〔附錄〕 俗語。附屬ノ記錄。

ふろしき (……)名。〔元ト屋長覓ノ永引ク迄ハ風呂場ノ流シニ敷キ、湯ヲ運ンダ共布ノ轉〕 (一)方形ノ布物ヲ包ム。═フルシキ。═包(二)代ヲ。(三)大言ヲ大風呂敷キヲ廣ゲルトイフ隱語カラ大言。═高言。

ふろしきづきん (第五上)名。〔……頭巾〕 風呂敷頭巾ト同ジク、天明頃ノ流行。═覓天御樹ノ流行ヲ禁ジタンダ。

ぶろてすたんと (……)名。〔英語 Protestant〕 耶蘇教ノ一派。所謂非耶蘇新教。西暦千五百十九年ニ羅馬教ヲ離脱ノ宗教ヲ立テタ。

ふろや (第二上)名。〔風呂場〕 浴室。═湯殿。

ふろやき (全平)名。〔……吹キ〕 大根ヲ湯デ炙其儘イウヲ味噌ヲ塗ツテ食フモノ。

ふろや (第二上)名。〔……屋〕 (一)湯屋(二)元錢湯ノ燃料ヲ貯ヘ、女郎屋ノ業ヲ營ンダ湯屋ト洞房語ニ同ジ。

ふろやさんな (第四上)名。〔……女〕 フロヤ(第二所謂)ノ婦人。

ふわ (第一上)名。〔不利〕 俗語。中タガヒ。

ふわけ (全平)名。〔……分ケ〕 解剖。

ぶわり (第一上)形。〔無禮〕 俗語。シヨトノ無イコト。═無禮ニシテ天下治マル。

ふわふわ (第三上)名。〔……回回〕 (一)古語。元ト古人カラ外國人ノ幾ト即チ外國人ノ幾ト即チ外國人ノ幾ト即チ

ぶんたい（第一上）名。{{文集}} 漢語。文章ヲ集メタ書。

△ぶんだい（……）名。{{全平}} 前ノ條。

△ぶんだいしゃう（……）（第四ヨ）（第三四合）（第一上）名。{{文章}} 漢語。（一）言語ヲ連ヌル配合ノ制ニ對シ、句數ヲ限ルトカ、韻ヲ踏ムトカノ制ニ無イ、散文。═文。（二）手紙。一一代文章ノコトニ書キ散ラシ。

ぶんたいしょ（……）（第一上）名。{{……書}} 漢語。カキモノ。═モノ。═フミ。

ぶんたいらく（……）（全平）名。漢語。◉{{分離}} 一節分ノ目的。◉{{文句飾}}（二）文句ノ飾リ。（二）文ヲスベテ、飾リ。

ぶんたいしん（……）名。漢語。◉{{分身}} 一身ガ二ツ以上ニ分カレルコト。◉{{文身}} イレズミ。═ホリモノ。═哥門ノ人。

△ぶんたいじん（第一上）名。{{文人}} 漢語。文學ノ一ニ未熟ノ端ノ數。

△ぶんたいず（第一上）名。フズク。

ぶんたいすい（全平）名。{{噴水}} 漢語。噴キ出ル水。═フキアゲ。═ヲ分ケ、究メルコト。

ぶんたいせき（……）名。{{分析}} 字音。化學デ、元素ノ一。

ぶんたいせん（……）名。{{個然}} 漢語。超ツタ體。

ぶんたいせん（……）名。{{文錢}} 字音。寛永錢ノ一。背ニ文ノ字ガアル。寛文年中京都ノ方底。

ぶんたいそ（第三上）自動。四段。{{踏み反る}} 後ヘ反ルノ義。足ヲ踏ミ出シテ體ガ後ヘ反ル。

△ぶんたく（全平）名。{{札}} フミダ。═フダ。

ぶんたくい（……）名。{{文盤}} 字音。小サナ机。書籍硯筆ナド。═幾ツ代女。

●ぶんだん（第一上）形。ぶんだんにノ根詞。

ぶんだんに（第一上）名。不斷ノ能ハズ。═ネント。═數用ヒバズ。

ぶんち（全平）名。{{分地}} 土地ヲ分ケルコト。（字第ニ書ケル場合ヒニ）

ぶんちん（……）名。{{文鎮}} 字音。紙ナドノ飜ラヌヨウニスルモノ。═書鎮。

ぶんつう（第一上）名。{{文通}} 字音。書信。═手紙ノオトヅレ。═書キカタ。

ぶんてい（全平）名。{{……體}} 漢語。文章ノ體裁。

ぶんてう（第三ヲ）（第三上）名。{{……鳥}} 字音。新羽ノ小鳥。ウソニ似テ類白ク、喉黒ク背腹紅ヲ帶ビル。

ぶんてん（全平）名。{{文典}} 字音。文法ヲ說イタ書。═{{若風俗}}

ぶんでう（……）名。{{分銅}} ぶんどんノ原語。

ぶんでう（第一上）名。{{文豆}} 字音。（一）ヤヘナリ。（二）エンドウ。

ぶんどし（全平）名。{{瓶}} フドシ{{若風俗}}

ぶんどり（第四上）名。ブンドルコト。

ぶんどる（第三上）他動。四段。{{分捕る}} 取場デ敵又非物ヲ奪フ。

ぶんどん（全平）名。{{分鈍}} 字ノ轉。天平稱ヲノ一方ノ皿ヘ物ヲ載セ、一方ノ物ノ重ヲ知ル具。多クハ銅デ橢圓形ニ造ル。

○ぶんな（第一上）名。{{愈愈}} 漢語。イカル。

ぶんなん（全平）名。フンヌン{{紛糾}}

ぶんなのつかさ（第一上）名。フミノツカサ{{第二職}}

ぶんぱい（全平）名。{{分派}} 漢語。ニギハ。

ぶんぱい（……）名。{{……配}} 漢語。配分。

ぶんぱうし（第三ヲ）（……）名。{{文房}} 漢語。（一）書齋。（二）書齋ニ必用ノ具。書物机筆紙硯墨ノ類。一「文房具」

△ぶんばさみ（第三上）名。フミバサミ。

ぶんぱつ（全平）名。{{髮}} 漢語。髮ヲ分ケルニナルコト。═四散。（二）倒產。

ぶんぴ（全平）名。字音。◉{{分子}} スベテ萬物ノ材料ノ最モ細カイモノ。漢語。Particle ノ對譯。◉{{分詞}} {{漢語。Participle ノ對譯}} 動詞ノ形容詞「歸リ來」ノ「歸リ」ノ類。

ぶんぴ（第一上）名。{{文事}} 漢語。スベテ、文學ノ事業。═ナタクナルコト。

ぶんぴつ（全平）名。{{筆}} 字音。物ガ紛レル。

ぶんぴつ（……）名。{{文筆}} 漢語。文事。

ぶんぴゃう（第一上）名。{{分病}} 漢語。配分。

ぶんぴん（全平）副。漢語。◉{{紛紛}} 亂レルサマ。◉{{芬芬}} 香ノ盛ルサマ。═思ヒ。

ぶんべつ（第一上）名。{{分別}} 字音。考ヘ。═

ぶんべつ（全平）名。{{分別}} 漢語。分類。

○ぶんべつらし（第五上）形。分別アルラシイ。═ムコト。═慮。

ぶんべん（全平）名。{{……娩}} 漢語。子ヲ生ムコト。

ぶんぼ（……）名。{{墳墓}} 漢語。ハカ。═ツカ。◎墳墓ノ地═{{我ガ父母ト共ニ住マツタル}}

ぶんぼく（全平）名。{{文墨}} 漢語。文事。

ぶんぼてう（第四ヲ）（……）名。{{蚊母鳥}} 漢語。カヤヒドリ。═下痢ノ。

ぶんぼん（第二上）名。{{寫本}} 漢語。筆ノ

ぶんまい（全平）名。{{分米}} 字音。藏米ヲ分ケルコト。{{子第ナドニ}}

ぶんまはし（第四ワ）（……）名。（一）日本瓜ノ竹製ノこんぱすニヤハリ類。

ぶんまん（……）名。{{念慢}} 漢語。イキドホリ。

ぶんみゃう（第三ヲ）（第三四ミョ合）（第三四上）{{分明}} 漢語。アキラカ。═明白。═詞。

ぶんみゃうに（……）（……）副。{{……に}}

ぶんめい（第三上）名。{{文明}} 漢語。智識教化開ケ、政治正シク、風俗ノ最モヨイコトノ稱。野蠻時代ヲ參遲ガカルコト。

ぶんめい（……）名。{{全平}} 漢語。文道ニ由ツテ立ツ官。武官ノ對。

ぶんもん（……）名。{{分家}} 字音。別家。

ぶんもん（……）（第三ヲ）（第一上）名。{{文徳}} 漢語。一切ノ惡。═ショク種ヒ起ス。

ぶんもん（……）（全平）名。{{籍數}} 漢語。烈

ぶんもん（第三ヲ）（第三四キョ合）（第四ウ）（第一上）名。{{分業}} 漢語。手ヲカケテノ業。

ぶんもん（全平）名。◉{{分見}} ═分間。字音。山野ノ遠近高低ノ測量。一分見網圖。◉{{開見}} 漢語。ケンモン{{見聞}}

ぶんやく（第三ヲ）（第三上）名。{{分限}} 字音。分際。═ホド{{他多小女郎}}

ぶんやく（全平）名。{{文庫}} 漢語。（一）圖書簡（二）書籍ナド納レル紙服ソノ手術。（三）雜品ヲ入レル四。

ぶんやこうゆ（第三ヨ）（第三上）名。{{墨後裔}} 初メ墨後ノ大分郡カラ出タ裔。花大キク淺紅重瓣質モ大キイ。═鶴裔。═ルル國。

ぶんやく（全平）名。{{分國}} 字音。分ケ領スル。

ぶんやつ（第一上）名。{{骨管}} 漢語。骨ヲ粉ニスル。═力限ソ骨ヲ折ル。

ぶんやゆ（第三ヨ）（全平）名。{{踏み龜み}} 猶ノ緣ノ淡イ斷裔。

ぶんやう（……）名。{{文字}} 漢語。文學ノオ。

ぶんやう（第一上）名。{{分際}} 漢語。（一）ホド。═カギリ。（二）身ノホド。═身分。

ぶんやん（全平）名。{{……敵}} 字音。（一）分カレ分カレニナルコト。═四散。（二）倒產。

ぶんよし（全平）名。字音。◉{{分子}} スベテ萬物ノ材料ノ最モ細カイモノ。漢語。Particle ノ對譯。◉{{分詞}} {{漢語。Participle ノ對譯}} 動詞ノ形容詞「歸リ來」ノ「歸リ」ノ類。

ぶんよし（第一上）名。{{文事}} 漢語。スベテ、文學ノ事業。═ナタクナルコト。

ぶんらく（全平）名。{{紛失}} 字音。物ガ紛レ

ぶんらん（第三ヲ）（全平）名。{{紛亂}} 漢語。亂レルコト。═モツレル。

ぶんりう（第三カ）（……）名。{{文藪}} 漢語。書物ノ多キ集マリ。

ぶんりゃう（第三カ）（第一上）名。{{……學}} 漢語。（一）書物ニ關ケル及ボス感化。（二）語學、修辭學、歷史學、ナドノ無形ノ學ノ總名。（三）文學ヲ英語 Literature ノ譯スベテ、然ルベキ智識ノ程度ノアル一般ノ人ニ理解出來ル文言ヲ用ヰ、感ヲ普通ナル感心ヲ與ヘ、感ヲ字面ノ異樣美ト考ヘラレル處ヲ除キ、專ラ人ノ感情ニ訴ヘ、感ヲ直ク、ハ從來、個ノ文學ト見做ス、哲學、論理學、ナドヲ除キ、歷史ヲ編ノ中カラ除ケ、此定義ニ外レテ、記錄ノハ記錄ノ中ニ入レル。

ぶんりゃく（第三ヲ）（全平）名。{{文略}} 字音。文句ヲハブクコト。═例。

ぶんれい（……）名。{{文例}} 漢語。書キ方ノ例。

ぶんゐ（第一上）名。{{……位}} 漢語。動位方ニノ動シテ常ノ位。

ぶんゐき（第三上）名。{{……氣}} 字音。空氣。英語 Atmosphere ノ譯。

ぐ ぢ づ

ぐ 五十音ハ第行第四ノ假名、此音ハ他ノ音ノ下ニアル時ハ濁元ヲシテ之ヲ發セシメテ反ルコトモアル、又下ニラ變ケレバ「ぴよ」合ノヤウニ呼ブコトモアル。

ぐ（ノ濁音、此音ハ「ぐ」ノ音ヲ變ケレバ「びよ」合ノヤウニ呼ブコトモアル。

ぐ（ノ半濁音、此音ハ「ぐ」ノ音ヲ變ケレバ「ぴよ」合ノヤウニ呼ブコトモアル。

ぐ（平名）、◉△（地）（物）ノ頂、═ノサキ、◉（自）（家）ノ約、一箇ノ人家、一ノ人、◉（總）イトカケ、═カザリ（和名抄）

ぐ（上名）、◉（家）（屋）ノ脇ノ瓦斯ノ穴、肛門カラ洩レル息ム、◉（屋）（腸胃中ノ瓦斯ノ穴、肛門カラ洩レル息ム、◉（魚）（はしら）ノ鰾（一）ぐ（方）ノ鰾（二）ぐ、═ハシ（一）△地蚊

ぐ（……）動、ぐ（屋）ノ鰾化、

ぐ（……）同、ぐ（總）ノ鰾化、

ぐ（……）（方）ヘ轉、方向ヲ示ス天關詞、進動ガ及ブ、ノ轉、一前ヘ行ク、

ぐ（……）（……）（……）

くたん (全字)名。◉{(諸―綾)}ハン。＝くたん。＝ハ。一古今集時代主「何セヨ―ノ見ル目ヲ思ヒケン…」◉{(漢)}{(前ヘ轉用ス)。

くだ (全字)名。瓜ナドノ蔓。＝ガ。

くだ (第二上)尾。{下手}{風說ノ事}。くだ(蛇)ノ義。細(上手ノ反)＝細手。

◁ぐだら (第二上)(…)名。別當。

くだたり (第四上)名。距離。

くだたる (第三上)自動、四段。{(原)たる}隔ツ。ナバ。■つ(立)ノ義。下ガ濁ル。

○◁くだつ (第二上)自動、四段。{…つ}{(重)くだ}

○◁くだつ (…)他動、下二。{…}物ト物トノ間ヲ隔ツ。古今集時代ノ語。

◁くだて (第三上)名。サカビ。＝キツ。

●◁くだてる (…)他動、二。くだつ(下二)ノ近體。

◁ぐだら (全字)感。ぐづ(愚)ノ古言。

◁ぐだらぐだら (第三ギ)(…)名。{別義}擬音。ゾッギ。

◁ぐだらなふ (第三ア四ノウ)(…)名。{…納}{別ノ納屋ノ義}。雜舍ノ外ノ雜舍。

くだもの (…)名。{又、果}{(菓)}{(漢)}{(…)}{(…)}{(…

ノ総称。ヌバカヌ人ヲ罵ル語。

●くるくる(第一上)副 滑クテ辷ッテ行ク様。

●ぐるぐる(…)副 ヨクシキマル様。

●ぐるぐる(…)副 (一)くりくり(二)ぐりぐり。

●くるくる(…)副 くりくり。

●ぐるぐる(…)副 ぐりぐり。

●くるくるとも(…)副 ぐりぐり。

くり(第一上)名{(漁)} (一)フデ。ペン。(二)鳥類ニノ属。漁ヲ包ム布。一ヲ風呂敷ヅツミ。

くりこむ(全平)自動四 ぐりこむ。

△くる(第一上)自動四{(漁)る} くりくだす。

くる(全平)自動四{(漁)る} 少クナル。

ニトホシクナル。ニメル。◎△くらす一メル。

ムス。ニヒルシガ體デナク。

●くる(第一上)自動二 ふ(漁)ノ近體。

●くる(…)他動二 ふ(漁)ノ近體。

ぐるぐるゆめん(第四・五合)(第四・五上)名[獨語 Perpetuaan] 鷹人船乗ノ布靴。ニマルマトアン。

ぐるめつと(第四通)(第二上)名[西班牙語 Vermouth ノ訛リ] 洋酒ノ一。味酢ニ似タ。ヌバ酸ヲ、稍苦味ガアル。伊太利國産ノガヨク日本ニ梅バル。

ぐれん(全平)名 ぐろりん。 ■屋名。

◀ぐろう(第一上)名[くろくろスル義] 吉ノ。

●くろ・くろ(第一上)副 裂ケ目ノ出ル様。一ガ滑稽ナ。ドガくろくろ笑」 ■マリナイ様。

●●ぐろ・ぐろ(全平)様 酔ヒナドシテ取リ締リノ。

●●ぐろ・ぐろ(第一上)副 前ノ副詞語調。

●●ぐろ・ぐろ(…)副 吉ナドヲ喜ブル様。

●くろ・ぐろ(…)副 くろくろ。

●ぐろ・ぐろ(…)副 ぐろぐろ。

●ぐろ・ぐろ(…)副 ぐろぐろ。

ぐろぐろ・のかみ(第七上)名。小児ノ遊戯。手ヲ前ヌ人ノ方カラ入レテ、後ニ出ス時、髪ヲ引ッ張ッテ泣カセル。

ノ尖ヲ折リ曲ゲ、両手ノ間ニ挟ミ、鋏ノ様ニ使ッテ、方角ヲ定メテ占ナフ。

●くろ・り(第一上)副 くろくろ。

●●ぐろ・り(…)副 ぐろぐろ。

●●ぐろ・り(…)副 (一)ぐろぐろ。(二)怒ッタ時ニ、玉ノ如キ物ヲ、ぐろり。トロ。

●くろり・と(…)副 くろり。

●●ぐろり・と(…)副 ぐろり。

●●ぐろり・と(…)副 ぐろり。

ぐろりん(全平)名[英語 Berlin Blue] 紺碧ノ様ノ藍ノ様」 濃イ紺色ノ顔料。ニペロ。ニベレンス。 ■アンスラ。

くろ・も(第一上)名{(漁)}[(漁)ノ義]

ぐろ・かく(第一上)(全平)名{(漁)} 字音。別格} 字音。別ノ格式外。 ■字音。訛リ。

ぐろ・かぶと(…)(…)名{…甲} 字音。別記。

△ぐろ・き(…)(…)名{(筆墨等)} ぐろんキ。

ぐろ・くわ(…)(…)名{別火} 字音。旅行、又月經ノ女ナドガ携帯キノ火ヲ別ニシテ燃レヌ様ニスルコト。ニマジル。

ぐろ・け(…)(…)名{…家} 字音。芥家。

ぐろ・こ(…)(…)名{…戸} 漁語。別家。

ぐろ・こん(…)(…)(第一上)名{…懇} 字音。特別ノ懇意。 ■音。シモヤシキ。

ぐろ・さつ(第二ン)(全平)名{…証} 字音。本書ニ添ヘル書。 ■トリワケテ。

ぐろ・と(…)(…)副{…と} 別ケテ。ニ。

ぐろ・やま(…)(…)名{別荘} 字音。他人ノ家。

ぐろ・だち(第二ト)(第二上)名{…輩}[輩別ナル意ノ時ハ字音(一)] 字音。別ナ職ノ具有ル人ノ仲間。

大政所等新聞、試験ヲヤルトカ、政所、作所等ニ頂ク。

立ッテ井戸ヲ掘ル人ノ称。

ぐろ・ぐろ(第一上)副 滑ラカニ辷ッテ行ク様。

ぐろ・ぐろ(…)副 ぐろぐろ。

ぐろ・ぐろ(…)副 ぐろぐろ。

ぐろ・ぐろ(…)副 ぐろぐろ

はぱ　ばぱ　ぱぱ

は　五十音圖「は行」第五ノ假名。此音ハ他ノ音ノ下ニアル時ハ音ヲ失ヒ又ハ變ジテ元ニ復ル。

ば　「はノ濁音」。

ぱ　「はノ半濁音」。

は（上）名。◉ 𛀀（家）[ひらう（家）]ト同意ニテ「日本紀」◉「イヘヲヨコ」ト訓ス。═スキンヲヨコト。═ヨキ家。◉「和名抄」ニ「上ハ天ニ通ジ下ハ地ニ至ル物ノ總名ナリ。貴賤ノ生ルヤキ。═カヒ。上ハ天ニ通ジ下ハ地ニ至ル。（二）錦ノ下キ。（三）レ外ニ見レル思ヒ。上ハ天ニ出デテ人ニ錯ハ{（地）}ノ語。（一）{（火）}ト同ジ語。◉ 𛀀（歩）ノ語。（一）アユミ。（二）由尺尺六尺天尺五尺尺ノ稱。三尺ヲ一歩ト云フ。大尺五尺四方ノ稱。═ノ。◉{（歩）}ノ語。（一）ウキ。（二）支那ノ{（歩）}ヲ{（歩）}トラクルノ稱。

は（名）名{（風）}ノ古名「風ヲはやみ（金）ノ義」帆柱ニ張ッテ風ヲ受ケ船ヲ進ムル具。布又ハ席デ作ル。

は（上）名「及ビ根」。語。◉{（葉）}ヲキス。═{（葉）}ヲ{（葉）}ニ{（葉）}ヲ{（葉）}ニ{（葉）}ヲ{（葉）}ニ

ばか・がら (名) 大キナ様子。
ばか・がら・に (副) (一) 非常ニ。大キク。
ばか・がら・に (副) (二) 下ノ語ヲ否定スル意ヲ強ムル語。
△ばかしい (形) 馬鹿ラシイ。
●ばかす (一) 他動 ばかサル。
●ばかす (二) 他動 ばかサル。
●ばかす (三) 他動 ばかサル。
ばか・だか (名) 馬鹿ト利口ト。
ばか・だか・い (形) 馬鹿ラシイ。
●ばかな (連) 全ク。
ばか・な (連) 全ク。
●ばかに (副) 非常ニ。
ばか・に (副) 非常ニ。
ばか・ばか・しい (形) 馬鹿ラシイ。
ばか・ばか・しい (形) 馬鹿ラシイ。
ばか・ばか・しい (形) 馬鹿ラシイ

ほをり　ほをり

ほをり　ほをり

ほをり　ほをり

ほとゝぎす（第四上）名（鳥）郭公―鳴ク聲カラ「―初音」（一）ホトトギス（第三上）名（古）―雀公―聲ノ形ヲ似セテ作レル玩具ノ名。

ほとゝぎす（第四上）名（植）―草ノ名。

ほとゝぎす（第四上）名（植）―草ノ名。

ほとゝぎす（第四上）名（植）―草

はうかい（名）[…]
はうかい（名）[…]
はうかい（名）[…]

ほつけ・たら (……)(……)(第四ド)(……)名〔……堂〕
法華三昧修行ノ堂。世人ノ聯骨ヲ收ムル處。═ホクダウ。

ほつけ・ほつかうえ (……)(……)(第五通)(第六ニ)(……)
名〔……八講會〕 宇音"法華經ノ法會"上古
初延ニモ行ハレ、一日ニ初度ダ度ノニ度アリ、一度ニ二卷ツヽ修メ、四日ニ全部八卷ヲ終ハル。═八講。

ほつ・ひん (……)(第一上)名〔貴種〕〔字ノ唐音"一說"轉建州ノ產"又北絹トモ書ク〕
漢語"どんきん(東京)カラ舶來ノ絹布。黃褐ヂ繭ルガ、黃色ヂ"かいきゃ"似テ黃褐イ。

ほつもら・しゆう (……)(第三ソ)(第五六合)(第三上)名〔法相宗〕 宇音"佛敎八宗ノ一。
法華ノ性相ヲ判ジスルノヲ主トスル。

ほつ・と (……)(第一上)名"ほふし(法師)ノ音便。

ほつ・しん (……)(第三上)名"(……)(發心)〕 發起。

ほつ・す (全平)名〔佛手〕〔唐音〕 漢語。
ほとけノ毛ヲ束ネタ物ヲ用ヒテ、世塵ヲ拂ヒ、又佛具ニ═ハイハラヒ。═塵尾。

○ほつス (……)(……)他動"さ變"(發)す〕 (ほりす)ノ音便〕 モトメル。

○ほつス (……)(……)自動"さ變"(發)す〕 (一)人ル。═ハヤル。═沈ム。(二)開ケ始マル。(三)(發)す〕 死ス。

ほつすがひ (……)(第四ガ)(第五)(第三上)名〔佛手貝〕 海產ノ植物體佛手ニ似ル。
堅ク白ク光リ、全體佛手ニ似ル。

ほつ・そく (全平)名〔發足〕 宇音"首途。

ほつたもすす (……)(第三上)名〔剝離腐蝕〕〔苦味
質"Potash〕 植物ノ灰カラ採ツタモノ。正
確加里性ガ强イ。═炭酸加里鐵。

ほつ・たい (……)(第一上)名〔法體〕 宇音"僧
ヲ直チニ地ニ起タルコト(家ナド)

ほつけ・たら (……)(……)(第四ド)(……)名〔……堂〕
法華三昧修行ノ堂。世人ノ聯骨ヲ收ムル處。═ホクダウ。

ほつけ・ほつかうえ (……)(……)(第五通)(第六ニ)(……)
名〔……八講會〕 宇音"法華經ノ法會"上古
初延ニモ行ハレ、一日ニ初度ダ度ノニ度アリ、一度ニ二卷ツヽ修メ、四日ニ全部八卷ヲ終ハル。═八講。

ほつ・ひん (……)(第一上)名〔貴種〕〔字ノ唐音"一說"轉建州ノ產"又北絹トモ書ク〕
漢語"どんきん(東京)カラ舶來ノ絹布。褐ヂ繭ルガ、黃色ヂ"かいきゃ"似テ黃褐イ。

ほつもら・しゆう (……)(第三ソ)(第五六合)(第三上)
名〔法相宗〕 宇音"佛敎八宗ノ一。
法華ノ性相ヲ判ジスルノヲ主トスル。

ほつ・と (……)(第一上)名"ほふし(法師)ノ音便。

ほつ・しん (……)(第三上)名"(……)(發心)〕 發起。

ほつ・す (全平)名〔佛手〕〔唐音〕 漢語。
ほとけノ毛ヲ束ネタ物ヲ用ヒテ、世塵ヲ拂ヒ、又佛具ニ═ハイハラヒ。═塵尾。

○ほつス (……)(……)他動"さ變"(發)す〕 (ほりす)ノ音便〕 モトメル。

○ほつス (……)(……)自動"さ變"(發)す〕 (一)人ル。═ハヤル。═沈ム。(二)開ケ始マル。(三)(發)す〕 死ス。

ほつすがひ (……)(第四ガ)(第五)(第三上)名〔佛手貝〕 海產ノ植物體佛手ニ似ル。
堅ク白ク光リ、全體佛手ニ似ル。

ほつ・そく (全平)名〔發足〕 宇音"首途。

ほつたもすす (……)(第三上)名〔剝離腐蝕〕〔苦味
質"Potash〕 植物ノ灰カラ採ツタモノ。正
確加里性ガ强イ。═炭酸加里鐵。

ほつ・たい (……)(第一上)名〔法體〕 宇音"僧
ヲ直チニ地ニ起タルコト(家ナド)

ほつけ・たら (……)(……)(第四ド)(……)名〔……堂〕
法華三昧修行ノ堂。世人ノ聯骨ヲ收ムル處。═ホクダウ。

ほつけ・ほつかうえ (……)(……)(第五通)(第六ニ)(……)
名〔……八講會〕 宇音"法華經ノ法會"上古
初延ニモ行ハレ、一日ニ初度ダ度ノニ度アリ、一度ニ二卷ツヽ修メ、四日ニ全部八卷ヲ終ハル。═八講。

ほつ・ひん (……)(第一上)名〔貴種〕〔字ノ唐音"一說"轉建州ノ產"又北絹トモ書ク〕
漢語"どんきん(東京)カラ舶來ノ絹布。褐ヂ繭ルガ、黃色ヂ"かいきゃ"似テ黃褐イ。

ほつもら・しゆう (……)(第三ソ)(第五六合)(第三上)
名〔法相宗〕 宇音"佛敎八宗ノ一。
法華ノ性相ヲ判ジスルノヲ主トスル。

ほつ・と (……)(第一上)名"ほふし(法師)ノ音便。

ほつ・しん (……)(第三上)名"(……)(發心)〕 發起。

ほつ・す (全平)名〔佛手〕〔唐音〕 漢語。
ほとけノ毛ヲ束ネタ物ヲ用ヒテ、世塵ヲ拂ヒ、又佛具ニ═ハイハラヒ。═塵尾。

○ほつス (……)(……)他動"さ變"(發)す〕 (ほりす)ノ音便〕 モトメル。

○ほつス (……)(……)自動"さ變"(發)す〕 (一)人ル。═ハヤル。═沈ム。(二)開ケ始マル。(三)(發)す〕 死ス。

ほつすがひ (……)(第四ガ)(第五)(第三上)名〔佛手貝〕 海產ノ植物體佛手ニ似ル。
堅ク白ク光リ、全體佛手ニ似ル。

ほつ・そく (全平)名〔發足〕 宇音"首途。

ほつたもすす (……)(第三上)名〔剝離腐蝕〕〔苦味
質"Potash〕 植物ノ灰カラ採ツタモノ。正
確加里性ガ强イ。═炭酸加里鐵。

ほつ・たい (……)(第一上)名〔法體〕 宇音"僧
ヲ直チニ地ニ起タルコト(家ナド)

ほつ・たら (……)(……)(第四ロ)(全平)名〔ぼんト發ケ
ヌ義〕 氣ノ鈍イ人。

◀ほん・そう (第一上)名。◉〔本初〕宇音"書初。◉
〔……紙〕 宇音"本紙。═書籍。

ほん・ぞう (……)名〔品〕 漢語"親王ノ敬スル位
號。

ほん (……)名〔及根〕〔本〕 漢語"(一)原本。═
手本。(二)書籍。(三)カガミ。═鏡。(四)モト。
═ネボキ。═「本國」(五)實。═現在。═マコ
ト。「本人」「本名」 ═ヲ數ヘル語。

ほん (……)接尾〔本〕 宇音"書物又ハ長イ物
ヲ數ヘル語。

ほん (全平)名〔盆〕 漢語"(一)盆。═ヒラカ
(二)又今主ニ═木製ノ扁イ淺ク物ヲ載
セル食器製ノモノアル。

ぼん (第一上)名。◉〔盆〕宇音"(一)盂蘭盆。
═ボニ。(二)又"其祭リノ布施供物。(三)又
其祭リノ日ヤ七月十五日前後(若干日)◉
〔……(一)死天。(二)ヌマヘ。天竺。佛道ニ關
係ノ物ニ被ラセル語。═「死語」 ═ミナシ。

ぼん (全平)名〔凡〕 漢語"普通。═等。═ナミ。

◀ぼん・あん (……)名〔……圖案〕 漢語"仕組ミヲ
カイル。

◀ぼん・い (第一上)名〔本意〕 漢語"本懷。═
ほん・かん (……)名〔……歌〕 宇音"正シイ和歌。═

ほつけ・たら (……)(……)(第四ド)(……)名〔……堂〕
法華三昧修行ノ堂。世人ノ聯骨ヲ收ムル處。═ホクダウ。

ほつけ・ほつかうえ (……)(……)(第五通)(第六ニ)(……)
名〔……八講會〕 宇音"法華經ノ法會"上古
初延ニモ行ハレ、一日ニ初度ダ度ノニ度アリ、一度ニ二卷ツヽ修メ、四日ニ全部八卷ヲ終ハル。═八講。

ほつ・ひん (……)(第一上)名〔貴種〕〔字ノ唐音"一說"轉建州ノ產"又北絹トモ書ク〕
漢語"どんきん(東京)カラ舶來ノ絹布。褐ヂ繭ルガ、黃色ヂ"かいきゃ"似テ黃褐イ。

ほつもら・しゆう (……)(第三ソ)(第五六合)(第三上)
名〔法相宗〕 宇音"佛敎八宗ノ一。
法華ノ性相ヲ判ジスルノヲ主トスル。

ほつ・と (……)(第一上)名"ほふし(法師)ノ音便。

ほつ・しん (……)(第三上)名"(……)(發心)〕 發起。

ほつ・す (全平)名〔佛手〕〔唐音〕 漢語。
ほとけノ毛ヲ束ネタ物ヲ用ヒテ、世塵ヲ拂ヒ、又佛具ニ═ハイハラヒ。═塵尾。

○ほつス (……)(……)他動"さ變"(發)す〕 (ほりす)ノ音便〕 モトメル。

○ほつス (……)(……)自動"さ變"(發)す〕 (一)人ル。═ハヤル。═沈ム。(二)開ケ始マル。(三)(發)す〕 死ス。

ほつすがひ (……)(第四ガ)(第五)(第三上)名〔佛手貝〕 海產ノ植物體佛手ニ似ル。
堅ク白ク光リ、全體佛手ニ似ル。

ほつ・そく (全平)名〔發足〕 宇音"首途。

ほつたもすす (……)(第三上)名〔剝離腐蝕〕〔苦味
質"Potash〕 植物ノ灰カラ採ツタモノ。正
確加里性ガ强イ。═炭酸加里鐵。

ほつ・たい (……)(第一上)名〔法體〕 宇音"僧
ヲ直チニ地ニ起タルコト(家ナド)

ほん・ぞう (……)(第一上)名。◉〔本初〕宇音"書初。◉
〔……紙〕 宇音"本紙。═書籍。

ほん・ぞう (……)名〔品〕 漢語"親王ノ敬スル位
號。

ほん (……)名〔及根〕〔本〕 漢語"(一)原本。═
手本。(二)書籍。(三)カガミ。═鏡。(四)モト。
═ネボキ。═「本國」(五)實。═現在。═マコ
ト。「本人」「本名」 ═ヲ數ヘル語。

ほん (……)接尾〔本〕 宇音"書物又ハ長イ物
ヲ數ヘル語。

ほん (全平)名〔盆〕 漢語"(一)盆。═ヒラカ
(二)又今主ニ═木製ノ扁イ淺ク物ヲ載
セル食器製ノモノアル。

ぼん (第一上)名。◉〔盆〕宇音"(一)盂蘭盆。
═ボニ。(二)又"其祭リノ日ヤ七月十五日前後(若干日)◉
〔……(一)死天。(二)ヌマヘ。天竺。佛道ニ關
係ノ物ニ被ラセル語。═「死語」 ═ミナシ。

ぼん (全平)名〔凡〕 漢語"普通。═等。═ナミ。

◀ぼん・あん (……)名〔……圖案〕 漢語"仕組ミヲ
カイル。

◀ぼん・い (第一上)名〔本意〕 漢語"本懷。═
ほん・かん (……)名〔……歌〕 宇音"正シイ和歌。═

ほん・ぞう (……)(第一上)名。◉〔本初〕宇音"書初。◉
〔……紙〕 宇音"本紙。═書籍。

ほん・ぞう (……)名〔品〕 漢語"親王ノ敬スル位
號。

ほん (……)名〔及根〕〔本〕 漢語"(一)原本。═
手本。(二)書籍。(三)カガミ。═鏡。(四)モト。
═ネボキ。═「本國」(五)實。═現在。═マコ
ト。「本人」「本名」 ═ヲ數ヘル語。

ほん (……)接尾〔本〕 宇音"書物又ハ長イ物
ヲ數ヘル語。

ほん (全平)名〔盆〕 漢語"(一)盆。═ヒラカ
(二)又今主ニ═木製ノ扁イ淺ク物ヲ載
セル食器製ノモノアル。

ぼん (第一上)名。◉〔盆〕宇音"(一)盂蘭盆。
═ボニ。(二)又"其祭リノ日ヤ七月十五日前後(若干日)◉
〔……(一)死天。(二)ヌマヘ。天竺。佛道ニ關
係ノ物ニ被ラセル語。═「死語」 ═ミナシ。

ほん (全平)名〔凡〕 漢語"普通。═等。═ナミ。

◀ぼん・あん (……)名〔……圖案〕 漢語"仕組ミヲ
カイル。

◀ぼん・い (第一上)名〔本意〕 漢語"本懷。═
ほん・かん (……)名〔……歌〕 宇音"正シイ和歌。═

ほん・ぞう (……)(第一上)名。◉〔本初〕宇音"書初。◉
〔……紙〕 宇音"本紙。═書籍。

ほん・ぞう (……)名〔品〕 漢語"親王ノ敬スル位
號。

ほん (……)名〔及根〕〔本〕 漢語"(一)原本。═
手本。(二)書籍。(三)カガミ。═鏡。(四)モト。
═ネボキ。═「本國」(五)實。═現在。═マコ
ト。「本人」「本名」 ═ヲ數ヘル語。

ほん (……)接尾〔本〕 宇音"書物又ハ長イ物
ヲ數ヘル語。

ほん (全平)名〔盆〕 漢語"(一)盆。═ヒラカ
(二)又今主ニ═木製ノ扁イ淺ク物ヲ載
セル食器製ノモノアル。

ぼん (第一上)名。◉〔盆〕宇音"(一)盂蘭盆。
═ボニ。(二)又"其祭リノ日ヤ七月十五日前後(若干日)◉
〔……(一)死天。(二)ヌマヘ。天竺。佛道ニ關
係ノ物ニ被ラセル語。═「死語」 ═ミナシ。

ほん (全平)名〔凡〕 漢語"普通。═等。═ナミ。

◀ぼん・あん (……)名〔……圖案〕 漢語"仕組ミヲ
カイル。

◀ぼん・い (第一上)名〔本意〕 漢語"本懷。═
ほん・かん (……)名〔……歌〕 宇音"正シイ和歌。═

ほん・ぞう (……)(第一上)名。◉〔本初〕宇音"書初。◉
〔……紙〕 宇音"本紙。═書籍。

ほん・ぞう (……)名〔品〕 漢語"親王ノ敬スル位
號。

ほん (……)名〔及根〕〔本〕 漢語"(一)原本。═
手本。(二)書籍。(三)カガミ。═鏡。(四)モト。
═ネボキ。═「本國」(五)實。═現在。═マコ
ト。「本人」「本名」 ═ヲ數ヘル語。

ほん (……)接尾〔本〕 宇音"書物又ハ長イ物
ヲ數ヘル語。

ほん (全平)名〔盆〕 漢語"(一)盆。═ヒラカ
(二)又今主ニ═木製ノ扁イ淺ク物ヲ載
セル食器製ノモノアル。

ぼん (第一上)名。◉〔盆〕宇音"(一)盂蘭盆。
═ボニ。(二)又"其祭リノ日ヤ七月十五日前後(若干日)◉
〔……(一)死天。(二)ヌマヘ。天竺。佛道ニ關
係ノ物ニ被ラセル語。═「死語」 ═ミナシ。

ほん (全平)名〔凡〕 漢語"普通。═等。═ナミ。

◀ぼん・あん (……)名〔……圖案〕 漢語"仕組ミヲ
カイル。

◀ぼん・い (第一上)名〔本意〕 漢語"本懷。═
ほん・かん (……)名〔……歌〕 宇音"正シイ和歌。═

ほん・ぞう (……)(第一上)名。◉〔本初〕宇音"書初。◉
〔……紙〕 宇音"本紙。═書籍。

ほん・ぞう (……)名〔品〕 漢語"親王ノ敬スル位
號。

ほん (……)名〔及根〕〔本〕 漢語"(一)原本。═
手本。(二)書籍。(三)カガミ。═鏡。(四)モト。
═ネボキ。═「本國」(五)實。═現在。═マコ
ト。「本人」「本名」 ═ヲ數ヘル語。

ほん (……)接尾〔本〕 宇音"書物又ハ長イ物
ヲ數ヘル語。

ほん (全平)名〔盆〕 漢語"(一)盆。═ヒラカ
(二)又今主ニ═木製ノ扁イ淺ク物ヲ載
セル食器製ノモノアル。

ぼん (第一上)名。◉〔盆〕宇音"(一)盂蘭盆。
═ボニ。(二)又"其祭リノ日ヤ七月十五日前後(若干日)◉
〔……(一)死天。(二)ヌマヘ。天竺。佛道ニ關
係ノ物ニ被ラセル語。═「死語」 ═ミナシ。

ほん (全平)名〔凡〕 漢語"普通。═等。═ナミ。

◀ぼん・あん (……)名〔……圖案〕 漢語"仕組ミヲ
カイル。

◀ぼん・い (第一上)名〔本意〕 漢語"本懷。═
ほん・かん (……)名〔……歌〕 宇音"正シイ和歌。═

ほん・ぞう (……)(第一上)名。◉〔本初〕宇音"書初。◉
〔……紙〕 宇音"本紙。═書籍。

ほん・ぞう (……)名〔品〕 漢語"親王ノ敬スル位
號。

ほん (……)名〔及根〕〔本〕 漢語"(一)原本。═
手本。(二)書籍。(三)カガミ。═鏡。(四)モト。
═ネボキ。═「本國」(五)實。═現在。═マコ
ト。「本人」「本名」 ═ヲ數ヘル語。

ほん (……)接尾〔本〕 宇音"書物又ハ長イ物
ヲ數ヘル語。

ほん (全平)名〔盆〕 漢語"(一)盆。═ヒラカ
(二)又今主ニ═木製ノ扁イ淺ク物ヲ載
セル食器製ノモノアル。

ぼん (第一上)名。◉〔盆〕宇音"(一)盂蘭盆。
═ボニ。(二)又"其祭リノ日ヤ七月十五日前後(若干日)◉
〔……(一)死天。(二)ヌマヘ。天竺。佛道ニ關
係ノ物ニ被ラセル語。═「死語」 ═ミナシ。

ほん (全平)名〔凡〕 漢語"普通。═等。═ナミ。

◀ぼん・あん (……)名〔……圖案〕 漢語"仕組ミヲ
カイル。

◀ぼん・い (第一上)名〔本意〕 漢語"本懷。═
ほん・かん (……)名〔……歌〕 宇音"正シイ和歌。═

ほん・ぞう (……)(第一上)名。◉〔本初〕宇音"書初。◉
〔……紙〕 宇音"本紙。═書籍。

ほん・ぞう (……)名〔品〕 漢語"親王ノ敬スル位
號。

ほん (……)名〔及根〕〔本〕 漢語"(一)原本。═
手本。(二)書籍。(三)カガミ。═鏡。(四)モト。
═ネボキ。═「本國」(五)實。═現在。═マコ
ト。「本人」「本名」 ═ヲ數ヘル語。

ほん (……)接尾〔本〕 宇音"書物又ハ長イ物
ヲ數ヘル語。

ほん (全平)名〔盆〕 漢語"(一)盆。═ヒラカ
(二)又今主ニ═木製ノ扁イ淺ク物ヲ載
セル食器製ノモノアル。

ぼん (第一上)名。◉〔盆〕宇音"(一)盂蘭盆。
═ボニ。(二)又"其祭リノ日ヤ七月十五日前後(若干日)◉
〔……(一)死天。(二)ヌマヘ。天竺。佛道ニ關
係ノ物ニ被ラセル語。═「死語」 ═ミナシ。

ほん (全平)名〔凡〕 漢語"普通。═等。═ナミ。

◀ぼん・あん (……)名〔……圖案〕 漢語"仕組ミヲ
カイル。

◀ぼん・い (第一上)名〔本意〕 漢語"本懷。═
ほん・かん (……)名〔……歌〕 宇音"正シイ和歌。═

ほんもの (全体)名 {本物} 贋物ニ対スル語。

ほんもの (全体)名 {本馬} 競馬ノ際、第三十六賞目ノ賞。

ほんや (…)名 {…屋} 本ヲ売ル店。

ほんやく (…)名 {…訳} 本ヲ翻訳スルコト。

ほんやく (…)名 {…役} 本ヲ翻訳スル役目。

ほんやく (…)名 {…家} 本ヲ翻訳スル人。

ほんやり (…)副 {…と} 注意ノ足ラヌ様。

ほんやり (…)名 {…者} 注意ノ足ラヌ人。

ほんやりもの (…)名 ほんやり者ニ同ジ。

ほんよう (…)名 {凡庸} 平凡ナコト。

ほんらい (全体)名 {本来} 元ヨリ。

ほんりゅう (…)名 {…流} 本ノ上ニ建テタ流派。

ほんりょう (…)名 {…領} 本ノ上ニ建テタ領地。

ほんるい (…)名 {…類} 本ノ上ニ建テタ類。

ほんるい (…)名 {…塁} 本ノ上ニ建テタ塁。

ほんれい (…)名 {…例} 本ノ上ニ建テタ例。

ほんろう (…)名 {…楼} 本ノ上ニ建テタ楼。

ほんろう (…)名 {…廊} 本ノ上ニ建テタ廊。

ほんろう (…)名 {…郎} 本ノ上ニ建テタ郎。

ほんろう (…)名 {…浪} 本ノ上ニ建テタ浪。

ほんろう (…)名 {…朗} 本ノ上ニ建テタ朗。

ほんろう (…)名 {…廊} 本ノ上ニ建テタ廊。

ほんろう (…)名 {…労} 本ノ上ニ建テタ労。

ほんろう (…)名 {…老} 本ノ上ニ建テタ老。

ほんろう (…)名 {…論} 本ノ上ニ建テタ論。

ほんろう (…)名 {…録} 本ノ上ニ建テタ録。

ほんろう (…)名 {…六} 本ノ上ニ建テタ六。

ほんろう (…)名 {…論} 本ノ上ニ建テタ論

おかは（全平）名「馬鹿」―馬鹿ノ葉ノ様ニ二三寸ノ樹葉ヲ互生シ夏ノ末ニ淡紅色ノ花ヲ開キ実ハ蒴果ニシテ熟スレバ裂ケテ内ニ同形ノ種子多数ヲ蔵ス。

おかぶ（全平）名◉「前ノ傍」サダカニアラヌ所。

おかまち（全平）名「真土」（一）粘土ノ多キ土。（二）赤土。

おかみ（全平）名「岡水」丘陵ノ間ヲ流ルル水。

おかめ（第二上）名「岡目」（一）遠ク離レテ見ル目。（二）傍観者ノ目。

おかめ（第二上）名「阿亀」醜女ノ名

●あたしごと（……）副　ワタシゴト。

○あたしども（第三十）自動・四段　あてど（名）ノ一層ヘリクダケタ語。＝オレドモ。

あたしめ（全平）名｛真仮名｝｛目｝　盗ニ入ラレタ体。

あたしめの（第四上）名｛動物｝　妖術ヲ施ス人ノ呼ビ名。＝狸・狐。

あたじゅく（第三上）名｛尺｝　すべて一尺ノ長サニ合ハセテ作ッタ物差。＝曲尺相当ラス。

◎あたしもんく　合ハズ。＝（無意味ナ）訳ノ分カラヌ言葉。

●あたしゃく（……）名。　あたしゃくノ訳ノ分カラヌ言葉。

◀あたしゃくしゃく（全平）名｛擬態語｝　物ヲ無遠慮ニ噛ム音。

あたしゃく（全平）名｛真仮名｝｛擬態語｝　物ヲ無遠慮ニ噛ム音。

あたしゃく（……）名。　＝白米。

◀あたしゃく（第一上）名｛真仮名｝　上等ノ米。

◀あたしゃく（第三上）名。　＝米。

◀あたしゃく（第四上）名。　＝米。

あたしゃく（……）自動・四段　家ニ参ル。

あたしゃく（……）自動・四段　＝参ル。

あたしゃく（第一上）名｛真仮名｝　＝米。

あたしゃく（第三上）名。　＝米。

あたしゃく（第一上）名。　＝米。

あたしゃく（第四上）名。　＝米

まつ・ばら (第二上)名 {松原} 松林。

まつばら・ん (第二上)名 {…薬園} 薬草ヲ栽ル園。

まつはル (第二ラ)(全字)自動 下二 {纏} はる} (一)マトハル。二カラマル。(二)纏綿スル。

まつ・ふだ・もの (第四ク)(第三上)名 {絵馬—絵所} 絵ノ賀—マツカナ。二サゲル。

◀まつ・ぼくり (…)名 マツノクリ(圓果)。

◀まつ・ぼっくり (第四濁)(第三上)名 マツボクリ。

まつ・むし (第二上)名 ◉ 〔松蟲〕今イフすゞむし—金鈴蟲。◉ {…} 古代ノすゞむし—金鈴蟲。

まつ・め (…)名 {…藻} (一)海中ノ海藻。松ノ子。—姫藻。

まつ・やに (全字)名 {松—脂} 松ノ樹ノ脂。

まつ・よひ (第四イ)(第一上)名 {待つ宵} (一)人ヲ待ツ宵。—まつよひニ更ケ行ク鐘ノ聲明ケバ…(二)陰暦、十四日ノ夜ノ月〔翌夜ノ月ヲ待ツ義〕多クハ八月。

◁まつらフ (第四ウ)(第三上)動 マツロフ〔四段〕〔日本紀〕

まつり (全字)名 ◉(一)スベテ祭ルコト。(二)山城ノ加茂ノ神社ノ祭祭リ。◉〔植語〕親帯産ノ植物。葉ハ圓ク互ニ秋ニ五種ノ鳥ノ形ガ夕方咲キ、朝萎チル。くちなしノ花ニ似テ香氣高ク、初メ白ク、後ニ赤トナル。

◁まつり・ごと (第四コ)(第四上)自動 四段 政事ヲスル。

まつり・ごと (…)(全字)名 {政}〔君命ヲ受ケテ行フ義〕政事。 ▣みくら官參考。

まつり・ごと・びと (…)(第五上)名 判官。 ▣かん

まつり・や (全字)名 神ヲ祭ル家。

まつル (全字)他動 四段 {祭}る〔待つ義〕(一)マヒラセル。(二)祝ヒまつる。

まつル (第二上)他動 四段 {祭—祀}る (一)儀式ヲ以テ誠意ヲ盡シテ神ヲ祭メル。 ▣ク末。—祭雄ノ末路。

まつろ (第一上)名 {末路} 落語。人ノ行

◁まつろフ (第四ウ)(第三上)自動 四段 服從スル。—マツラフ〔古事記〕

◁まつろフ (…)(第三上)他動 下二 {服ふ} サセル。—高盛隼人ヲまつろフ人。

まて (第一上)名 {全手} 兩手。—モロテ。

まと (全字)名 {松本}〔信州、松本カラ出ス故〕産ノ名。センヲウグ。—筑摩郡。

まつ・もと (第三上)名 {…邊} 市中ノ佛堂。

まつやま (第三ヤ)(第五六チ合) 地名。

まつやま・ばかま (第三上)名 緒ノ前ノ裾。

まつらやう (第一上)名 {待ち女郎} 婚禮ニ新婦ニ附キ添フ

まつ・ゆき (第三上)名 {…道} 市中ノ佛堂。

まつ・ゆき (第四ヤ)(…)城 木キノ根圓體。

まつ・ゆき (…)(…)副 待ヒ他ニテ

まつらん (全字)他動 四段 {…取る} 待ヤ受ケバ。

まつり (全字)名 {町} 町家ノ並ビ

まつりばり (第三上)名 {待ち針} 針仕事ニ

まつりびけし (第三上)名 {町火消し} 市中ノ消防夫。

まつりびと (第二上)名 {待ち人} 其家ヲ

まつりまへ (…)(全字)名 {祭—前} 祭ノ

まつりやう (第四ヨ)(第三上)名 {町—家} 町家ノ並ビ

まつりやう (第四ヨ)(第三上)名 {町—業} 町仕事デ

まつりやう (第四ヨ)(第三上)名 {町—醫} 町ノ醫者。

まつりやう (第四ヨ)(第三上)名 {町—商} 町ノ商人。

まつりやう (第四ヨ)(第三上)名 {町—職} 町ノ職人。

まつりやう (第四ヨ)(第三上)名 {町—藝} 町ノ藝人。

まつりやう (第四ヨ)(第三上)名 {町—役} 町ノ役人。

まつりやう (第四ヨ)(第三上)名 {町—醫} 町ノ醫者

おなな　おなひ　おなも　おなや　おなり　おにあ　おにお　おにし　おにす　おにた　おにね　おにの　おには　おにひ　おにま　おにみ　おにも　おにや　おにり　おぬあ　おぬお　おぬし　おぬす　おぬた　おぬね　おぬの　おぬは　おぬひ　おぬま　おぬみ　おぬも　おぬや　おぬり　おねあ　おねお　おねし　おねす　おねた　おねね　おねの　おねは　おねひ　おねま　おねみ　おねも　おねや　おねり　おのあ　おのお　おのし　おのす　おのた　おのね　おのの　おのは　おのひ　おのま　おのみ　おのも　おのや　おのり　おはあ　おはお　おはし　おはす　おはた　おはね　おはの　おはは　おはひ　おはま　おはみ　おはも　おはや　おはり　おひあ　おひお　おひし　おひす　おひた　おひね　おひの　おひは　おひひ　おひま　おひみ　おひも　おひや　おひり　おふあ　おふお　おふし　おふす　おふた　おふね　おふの　おふは　おふひ　おふま　おふみ　おふも　おふや　おふり　おへあ　おへお　おへし　おへす　おへた　おへね　おへの　おへは　おへひ　おへま　おへみ　おへも　おへや　おへり　おほあ　おほお　おほし　おほす　おほた　おほね　おほの　おほは　おほひ　おほま　おほみ　おほも　おほや　おほり　おまあ　おまお　おまし　おます　おまた　おまね　おまの　おまは　おまひ　おまま　おまみ　おまも　おまや　おまり　おみあ　おみお　おみし　おみす　おみた　おみね　おみの　おみは　おみひ　おみま　おみみ　おみも　おみや　おみり　おむあ　おむお　おむし　おむす　おむた　おむね　おむの　おむは　おむひ　おむま　おむみ　おむも　おむや　おむり　おめあ　おめお　おめし　おめす　おめた　おめね　おめの　おめは　おめひ　おめま　おめみ　おめも　おめや　おめり　おもあ　おもお　おもし　おもす　おもた　おもね　おもの　おもは　おもひ　おもま　おもみ　おもも　おもや　おもり　おやあ　おやお　おやし　おやす　おやた　おやね　おやの　おやは　おやひ　おやま　おやみ　おやも　おやや　おやり　おゆあ　おゆお　おゆし　おゆす　おゆた　おゆね　おゆの　おゆは　おゆひ　おゆま　おゆみ　おゆも　おゆや　おゆり　およあ　およお　およし　およす　およた　およね　およの　およは　およひ　およま　およみ　およも　およや　おより　おらあ　おらお　おらし　おらす　おらた　おらね　おらの　おらは　おらひ　おらま　おらみ　おらも　おらや　おらり　おりあ　おりお　おりし　おりす　おりた　おりね　おりの　おりは　おりひ　おりま　おりみ　おりも　おりや　おりり　おるあ　おるお　おるし　おるす　おるた　おるね　おるの　おるは　おるひ　おるま　おるみ　おるも　おるや　おるり　おれあ　おれお　おれし　おれす　おれた　おれね　おれの　おれは　おれひ　おれま　おれみ　おれも　おれや　おれり　おろあ　おろお　おろし　おろす　おろた　おろね　おろの　おろは　おろひ　おろま　おろみ　おろも　おろや　おろり　おわあ　おわお　おわし　おわす　おわた　おわね　おわの　おわは　おわひ　おわま　おわみ　おわも　おわや　おわり　おんあ　おんお　おんし　おんす　おんた　おんね　おんの　おんは　おんひ　おんま　おんみ　おんも　おんや　おんり

おなな　おなひ　おなも　おなや　おなり　おにあ　おにお　おにし　おにす　おにた　おにね　おにの　おには　おにひ　おにま　おにみ　おにも　おにや　おにり　おぬあ　おぬお　おぬし　おぬす　おぬた　おぬね　おぬの　おぬは　おぬひ　おぬま　おぬみ　おぬも　おぬや　おぬり　おねあ　おねお　おねし　おねす　おねた　おねね　おねの　おねは　おねひ　おねま　おねみ　おねも　おねや　おねり　おのあ　おのお　おのし　おのす　おのた　おのね　おのの　おのは　おのひ　おのま　おのみ　おのも　おのや　おのり　おはあ　おはお　おはし　おはす　おはた　おはね　おはの　おはは　おはひ　おはま　おはみ　おはも　おはや　おはり　おひあ　おひお　おひし　おひす　おひた　おひね　おひの　おひは　おひひ　おひま　おひみ　おひも　おひや　おひり　おふあ　おふお　おふし　おふす　おふた　おふね　おふの　おふは　おふひ　おふま　おふみ　おふも　おふや　おふり　おへあ　おへお　おへし　おへす　おへた　おへね　おへの　おへは　おへひ　おへま　おへみ　おへも　おへや　おへり　おほあ　おほお　おほし　おほす　おほた　おほね　おほの　おほは　おほひ　おほま　おほみ　おほも　おほや　おほり　おまあ　おまお　おまし　おます　おまた　おまね　おまの　おまは　おまひ　おまま　おまみ　おまも　おまや　おまり　おみあ　おみお　おみし　おみす　おみた　おみね　おみの　おみは　おみひ　おみま　おみみ　おみも　おみや　おみり　おむあ　おむお　おむし　おむす　おむた　おむね　おむの　おむは　おむひ　おむま　おむみ　おむも　おむや　おむり　おめあ　おめお　おめし　おめす　おめた　おめね　おめの　おめは　おめひ　おめま　おめみ　おめも　おめや　おめり　おもあ　おもお　おもし　おもす　おもた　おもね　おもの　おもは　おもひ　おもま　おもみ　おもも　おもや　おもり　おやあ　おやお　おやし　おやす　おやた　おやね　おやの　おやは　おやひ　おやま　おやみ　おやも　おやや　おやり　おゆあ　おゆお　おゆし　おゆす　おゆた　おゆね　おゆの　おゆは　おゆひ　おゆま　おゆみ　おゆも　おゆや　おゆり　およあ　およお　およし　およす　およた　およね　およの　およは　およひ　およま　およみ　およも　およや　おより　おらあ　おらお　おらし　おらす　おらた　おらね　おらの　おらは　おらひ　おらま　おらみ　おらも　おらや　おらり　おりあ　おりお　おりし　おりす　おりた　おりね　おりの　おりは　おりひ　おりま　おりみ　おりも　おりや　おりり　おるあ　おるお　おるし　おるす　おるた　おるね　おるの　おるは　おるひ　おるま　おるみ　おるも　おるや　おるり　おれあ　おれお　おれし　おれす　おれた　おれね　おれの　おれは　おれひ　おれま　おれみ　おれも　おれや　おれり　おろあ　おろお　おろし　おろす　おろた　おろね　おろの　おろは　おろひ　おろま　おろみ　おろも　おろや　おろり　おわあ　おわお　おわし　おわす　おわた　おわね　おわの　おわは　おわひ　おわま　おわみ　おわも　おわや　おわり　おんあ　おんお　おんし　おんす　おんた　おんね　おんの　おんは　おんひ　おんま　おんみ　おんも　おんや　おんり

ぬ。(……)相。(……)(名詞)。(きょう)(……)(名詞)(……)(名詞)(……)(名詞

まるしてん (…)名。{(仏利支天)}{(梵語 Marishi)}陽炎ノ神。天竺ニテ火星ノ女神。後世日神。

まるち (名平)名。{(天)}(一)中心カラ遠ク百方同距離ノ点ノ形。═円形。(二)全体。一点ヲ繞ル線。(三)城ノ郭内。大郭ノ外ヲ二ノ城ノ郭ヲ繞ル外城═羅城。其外ヲ三ノ郭ヲ繞ル(月城)トイフ。(四)◀ちなみノ熟名(羅内)

まるつ (…)接尾。{…}{まるう(麿)}ノ転。人ノ名ニ添ヘル語。一牛若ノ器具犬鞘ナドノ名ニ添ヘル語。一安宅まるつ。一太郎まるつ。◉{(庶子)}{(天ギヤノ転)}大小便ヲ催ケル病者又ハ小児ノ用═おまるカ。

まるる (…)他動 四段。{(放)る} 大小便ヲスル。

まるイ (…)形。まるしノ近語。

まるえ (…)名。{(画絵)} 絵顔絵参考。

まるおびえ (…)名。{(天非比)} 鯛人ノ帯ビ。全一枚ノ布ヲ折リ返シテ総ヒ合ハセタモノ。

まるがつば (第三ナ)(第三上)名。{(天合羽)} ヒキマント。

まるがんな (…)(第五上)名。{(圓鉋)} 一種ノ小刀ガ中間ヲ円イノハそとまるノ中鉋ニ円イノハうちまるノ。

まるき・ばし (第三上)名。{(天木橋)} 鋼木橋。

まるき・ぶね (第四上)名。{…舶} サツホ船。

まるく (第一上)名。{(馬)}{(記号語 Mark)} 省士ノ徽号。日本ソニ十四級四厘。

まるさんかく (第二ク)(第三ク)(名平)名。 円ク三ク三ツテ鋸ノ歯ノ如ク三ツ三ツニ角ヲ立テタルノ用。

まるた (…)名。{(丸太)} ラントウユウ。

まるだし (第三コ)(…)名。{(丸腹)} 腹ガ無ツテ丸ク出タル腹。

まるた (…)名。{(丸太)} (一)円ク長イ材木。(二)◀開業ニこひノ属。味ハヒツイ═ミソコミ。═(第一)雌雄。

まるた・ばしら (第四上)名。{…柱} マルタ。

まるつけ・うり (第五上)名。{(金平瓜)} 秋ニカケテ生ル瓜。熟シタ時色═アヲウリ。═ナツリ。═糖瓜。═菜瓜。

●まるで (名平)副。{(全)}全ク。═幾ラズ。

まるのみ (第三上)名。{(圓鑑)} 刀ノ圓イ鐔。

まるのみ (名平)名。{(全呑)} 其儘ノ形ヲ呑ムコト。(二)全体ヲ呑ムコト。

まるぶとしゅかん (第四 五合)(第三上)名。{(圓佛手柑)} 佛手柑ノ一種ニ似テ其肉ヲ砂糖ニ漬ケル。═枸櫞。═香櫞。

まるまげ (第四ク)(第四上)名。{(丸髷)} 婦人ノ髪ノ風。頂キニ横田ヲ高イ髷ヲ分ケ髪ノ端ヲ女ガ結フ。═ボンヂ。

まるみ (名平)名。 圓クアル程度。

まるむね・うくら (第五上)名。{(圓棟蔵)} 屋根ノ勾配ヲ中高ニ造ツタモノ。

●まるめル (…)他動 二。まるむノ近語。

まるめろ (…)名。{(鳳梨)}{(園語 Marmel)} 果物ノ砂糖漬ケノ類。林檎ニ似タ類。花ハ五弁ニシテ大ク紅ク香アリ。酸ク渋ク砂糖漬ケニスル。═香圓。

まるもろこし (第四通)(第三上)名。{(土蕃黍)}{(園語 Marmot)} 南京黍ノ一種。大キサ南京黍ヨリ大ニシテ═モルモット。(二){(誤ツテ)}天竺黍。

まるもの (名平)名。{(圓物)} 経五寸乃至八寸ノ銭ニ似タ的ノ一種。

まるやき (…)名。 マルデ焼クコト。═半ノまるやき。═全焼。

まるやけ (…)名。 マルデ火災ニ焼クルコト。

まれ (第二上)形。{(希═稀)}{(全平)(有)}{(名平)}尺ノ誤稀。

まろ (…)名。 マメマメシクアル度合ヒ。

まろかす (第一上)形。次ギノ根詞ニ。

まろがる (第二上)自動 四段。{(転)}ころがる。

まろき (名平)名。{(円)} (一)球。═玉。(二)◀開業ニこひノ属。味ハヒツイ═ミソコミ。═(第一)雌雄。

まろだ (…)名。{(丸太)} (一)圓クアル材木。(二)◀開業ニこひノ属。味ハヒツイ═ミソコミ。

まろだばしら (第四上)名。{…柱} マルタ。

まろつけ・うり (第五上)名。{(全平瓜)} 秋ニカケテ生ル瓜。熟シタ時色═アヲウリ。═ナツリ。═糖瓜。═菜瓜。

●まろで (名平)副。{(全)}全ク。═幾ラズ。

まろのみ (第三上)名。{(圓鑑)} 刀ノ圓イ鐔。

まろのみ (名平)名。{(全呑)} 其儘ノ形ヲ呑ムコト。(二)全体ヲ呑ムコト。

まろぶとしゅかん (第四 五合)(第三上)名。{(圓佛手柑)} 佛手柑ノ一種ニ似テ其肉ヲ砂糖ニ漬ケル。═枸櫞。═香櫞。

まろまげ (第四ク)(第四上)名。{(丸髷)} 婦人ノ髪ノ風。頂キニ横田ヲ高イ髷ヲ分ケ髪ノ端ヲ女ガ結フ。═ボンヂ。

まろみ (名平)名。 圓クアル程度。

まろむね・うくら (第五上)名。{(圓棟蔵)} 屋根ノ勾配ヲ中高ニ造ツタモノ。

●まろめル (…)他動 二。まろむノ近語。

まろやか (…)名。{(丸屋)} 静カナド ノ様リ家。一静ノまろやかニ秋風ノ吹クノ。

まわた (名平)名。{(真綿)} 木綿ノ ニ対シ。═わた。═綿絮。═(第一)雌雄。

●まわたし (第四上)名。{(厠度し)} 参考。

まわル (第一上)自動 四段。{(巡)る}{(参)らす}(一)(人ノ)後ヲ参上スルコト。(二)他ノ動詞ト熟語ニスル敬語。一思ヒまわらす

ト。═純黒。■ト。═勝門。〔まつさき〕語ケテ。
まつ・ぢき（……）名。最モサキ。アルコロ。〔接頭ニ満ス〕
まつ・ぢを（……）形。（……）根。〔……青〕〔まぢ發語〕真ニ青イコト。═純青。■詞。
まつ・しぐら（……）形。（……）根。〔盛地〕次ギノ根
まつ・しぐらに（……）副〔まぢ眞〕しぐり（切）ノ義〕急ニ烈シク進ミカカル體。═イツサンニ。
まつ・しや（……、第三、四合）〔全平名〕〔末社〕
字音。（一）本社附屬ノ神社。═エダガミ。═齋神。（二）遊里デ客ヲ取リ持ツ者（大抵ヲ大神ニ寄セテ）。
まつ・しよ（……）〔全平〕名。（……書）
まつ・しろ（……）〔第三上〕根。〔眞白〕純白。
まつ・すゞ（……）名。全ク直ダアルコト（形チ、氣性共ニ）。
まつ・せ（……）〔全平〕名。〔末世〕漢語。スエノ世。
●まつたィ（……）形。まつたし ノ近體。
まつたく（……）副。〔全ク〕悉ク。
▲まつたけ（……）名。マツダケ（京坂）。
まつた・さ（……）名。マツダイ度合ヒ。
○まつたシ（……）形。〔全═完〕シ。またし ノ音便。峽ケルコトガ無イ。═十分ダアル。
まつち（……）〔第一上〕名。〔隣ス〕英語Match スリツケギ。═メツチ。
まつ・ちや（……、第三、四合）〔全平〕名。〔末茶〕
ひきちや參考。
△まつと（……）名。まひとノ音便。
まつ・びら（……）〔第三上〕副。〔眞平〕ヒラニ。
まん（第一上）名。〔饅〕漢語幕ノ類。
まん（……）名。〔及、根〕漢語。◉〔滿〕ミチル（普通ニ熟語トシテ）。◉〔慢〕メカブル。═ソアロ（……）◉〔漫〕ソアロ。═ハビコル（……）◉〔蔓〕ツル（……）═蔓草。◉〔瞞〕ゴマカス（……）═瞞着。

まん（……）數。（萬═万）漢語。ヨロヅ。
字音。其數ニ滿チテアルコト。═詞。
まん（……接頭）滿ノ中ニヒトツ。
まん・いち（……）副〔萬一〕萬ノ中ニヒトツ。
まん・えつ（全平）名。〔滿悅〕字音。充分ノ喜悅。
まん・えふ・がな（第三ヨ、第四ウ、第五ガ）〔第三上名。〔萬葉假名〕マナ。
まん・えん（……）名。〔蔓延═蔓竹〕
●まん・ぎら（……）〔第三上〕副〔まぢ眞〕しきり（切）ノ義〕急ニ烈シク進ミカカル體。═イツサンニ。
まん・じ（全平）名。〔滿字〕字音。滿州ノ文字。═滿文。◉〔卍〕印度ノ〔萬〕ノ字。佛ノ胸ノ前ニ描キ、吉祥萬德ノ相トイフ。
まん・しん（……）名。〔慢心〕字音。慢氣。
まんじゆしや・け（第三、四、及第五、六合）〔第五、六上〕名。〔曼珠沙華〕〔曼珠沙ハ梵語、赤イ華ノ義〕字音。野ノ草。一根數葉、水仙ヨリ狹ク、厚ク光リ、秋、莖ヲ出シ、彼岸頃、深紅六瓣ノ反ッタ花ガ咲ク。實ガ熟シテ莖ハ腐ル。根ハ水仙ニ似テ褐色ナモノ。═シビトバナ。═石蒜。
○まんズ（第一上）自動。さ變。慢心スル。
まん・すゐ（全平名。〔滿水〕字音。水ガ十分ニ滿チル。■ク性質。
まん・せい（……）名。〔慢性〕字音。病氣ノ永引ク性質。
まん・ぜん（……）名。（……然）トリトメナク。
まん・そく（第一上）名。〔滿足〕字音。充分。
まんだら（全平名。〔曼陀羅〕）漢語。（一）マダラ（二）淨土實相ノ圖
まんだら・げ（第五ゲ）〔……名。（……華）〕漢語。草ノ名。夏、秋白イ花ガ咲ク。花ハあさがほニ似、實ハ圓ク殆アリ、食ヘバ發狂スルトイフ。═キチガヒナスビ。═ハリナスビ。═テウセンアサガホ。═釋迦如來、「摩訶曼陀羅華、曼珠沙華」。■漢語。敗ク。
まん・ちやく（第三、四合）〔……〕名。〔瞞着〕

まん・ぢゅう（……）〔第三、四上〕名。〔饅頭〕〔唐音。唐ノ饅頭ヲ略シテ、元八、林淨因ガ歸化シテ製シタ〕。〔饅飩粉ニ甘酒ヲ加ヘ、「擅キテ酵ヲ包ミ、蒸シタル菓子。■茶ナドノ脂。
まんてい（全平名。〔閫語、Manteau〕後、西洋服ノ上衣。═マント。═外套。
まん・でう（……）名。〔萬度〕字音。（一）マンタビ。（二）二萬度ノ祓ヒヲシタ祓ヒ串ヲ祓ヒ箱ニ入レテ配ルモノ。
まん・どう（……）名。〔……燈〕萬度ノ祓リ。字音。祭禮ナドニ、水匡ニ紙ヲ張リ、萬度ノ祓ヒ箱ノヤウニシテ火ヲ點ズルモノ。
まん・どころ（第三上）名。〔政所〕（一）政事ヲ行フ所。（二）檢非違使ノ廳。（三）鎌倉時代、政令ノ出ル所。初メハ公文所、頼朝ガ近衛大將ニ任ジテカラ其長ヲ別當ト稱ヘタ。（四）室町將軍ノ時、殿中スベテノ政事ノ局。（五）北、又ハ大ノ語ニ添ヘテ攝關ノ妻、母ノ尊稱。═北ノまんどころ。
まんな（全平名。まな（眞字）ノ音便。
まんなか（……）根。〔眞中〕ヌダナカ。
まんねん・ぐさ（第五グ）（第三上）名。〔萬年草〕〔根ヲ引イテ稻經ヲモ生ヘル故。濕地ノ草。葉ハ三葉毎ニ對生シ、初夏、五瓣ノ黃色ノ花ガ咲ク。コレハ雄ヂ、雌ハ形チ小サク葉ガ美シイ（いちくさ）。═佛甲草。═玉箔。═イツマデグサ。═タマガシハ。═ホトケノツメ。
まんねん・ずみ（……）名。〔……酢〕酒酢。水ヲ合ハセ密封シテ日ヲ經サセタ酢。其一盞ヲ取レバ酒一盞ヲ加（置キ、永ク盡キズ。■ト。
まんねん・せい（……）名。〔……青〕漢語。オモ五上名。萬歲用ノ下等ノ扇子。
まんざい・らく（第六上）名。〔……樂〕字音。（一）舞樂ノ曲唐ノ武后ノ作。（二）踏歌。（三）地震ノ時ノ呪詞。■ツルグサ。
まん・さう（第三ソ）（全平名。〔蔓草〕）漢語。
まん・さく（第一上名。〔滿作〕字音。豐作。
●まん・ざら（第四上）副〔まぢ眞〕しきり（切）ノ轉〕氣ガ殘ッテ振リ捨ヲ兼ネル體。═「まんざらデモ無シ」。
まんが（第三ガ）（第三上）名。マグハ（馬蝦）。
まんが（……）名。〔滿俺、〔Manganese〕（一）元素鑛物。（二）常ニ過酸化まんがん。鹹色ニシ、又陶器ニモスル。═無名異。
まん・がん（……）名。〔……書〕
まん・かい（全平名。〔滿開〕）漢語。十分ニ開イタコト。花ガ。
まんがん（……）名。〔滿俺、〔Manganese〕（一）元素
まん・き（……）名。字音。多年。こゝん（劫）參考。
まん・き（……）名。〔……歲〕漢語。（一）ヨロヅ（二）元、正月五日朝廷ノ公事、てうはじめ（新始）ノ次ギニ千秋萬歲ト祝ス、後世、年初ニ風折リ烏帽子、大口袴ヲ着テ腰鼓ヲ撃チ祝ヒヲ歌ヒ舞フヲ萬歲ト稱ヘタ。京都デハ大和カラ出、關東デハ三河
まん・ぎく（……）名。〔……菊〕
まん・ぐわん（……）〔第三ク〕名。〔……願〕字音。所期ノ願ヒ。
まん・げつ（……）〔第三ク〕名。〔滿月〕字音。（一）月ノ滿チタル夜ノ月。═望月。（二）月ノ滿チタル形。（……）〔全═完〕シ。
まんごく・ぢゃ（……、第三、四合）〔全平〕名。〔末茶〕
ひきちや參考。
△まんと（……）名。まひとノ音便。
まん・びら（……）〔第三上〕副。〔眞平〕ヒラニ。
まん（第一上）名。〔饅〕漢語幕ノ類。
まん（……）名。〔及、根〕漢語。◉〔滿〕ミチル（普通ニ熟語トシテ）。◉〔慢〕メカブル。═ソアロ（……）◉〔漫〕ソアロ。═ハビコル（……）◉〔蔓〕ツル（……）═蔓草。◉〔瞞〕ゴマカス（……）═瞞着。

まんねん・だけ（……）名。〔萬歲〕字音。（一）マンタビ。（二）二萬度ノ祓ヒヲシタ祓ヒ串ヲ祓ヒ箱ニ入レテ配ルモノ。
まん・のう（……）名。〔萬能〕字音。ヨロヅノ藝。
まん・ばう（……）〔第三ホ〕名。マンバウヅヌ。
まんばうぎめ（……）名。ヲキキ。
まん・ぱち（第一上）名。〔萬八〕ウン（一萬ノ八十ノ八十ノ八十

みかど　みかり　みたり

みたり　みたら　みなか

ス再興ノ爲ヲ取バ大舎人助。■バカリ。

△みつうは（…）（第四上）自動、四段。ミツハ、グム。水ニ

△みつうは（…）（第四上）名。{水鵜}

△みつうは（…）（第四上）名。{…ぐさ}

△みつうは（…）（第四上）名。{…ぐさ}

△みつうは（…）（第四上）名。{…ぐさ

みなもと　名　源氏ノ略。

みなもとのよりとも　人名　源頼朝。

みなもとのよりまさ　人名　源頼政。

みなもとのよりみつ　人名　源頼光。

みなもとのよりよし　人名　源義家。

みなもとのよりよし　人名　源義経。

みなもとのよりよし　人名　源義朝。

みなもとのよりよし　人名　源義仲。

みなもとのよりよし　人名　源義仲。

みなもとのよりよし　人名　源義仲

みやうしゅ（…）名「…種」ミヤウ
みやうじょう（…）名「…定」ミヤウ
みやうしん（…）名「…神」ミヤウ
みやうせき（…）名「…石」ミヤウ
みやうだい（…）名「…代」ミヤウ
みやうにち（…）名「…日」ミヤウ
みやうねん（…）名「…年」ミヤウ
みやうばん（…）名「…番」ミヤウ
みやうばん（…）名「…晩」ミヤウ
みやうもく（…）名「…目」ミヤウ
みやうり（…）名「…利」ミヤウ
みやうりょう（…）名「…料」ミヤウ
みやうれい（…）名「…令」ミヤウ
みやうろう（…）名「…朗」ミヤウ
みやうわく（…）名「…惑」ミヤウ
みやく（…）名「…脈」ミヤク
みやくはく（…）名「…搏」ミヤク
みやくらく（…）名「…絡」ミヤク
みやけ（…）名「…家」ミヤケ
みやこ（…）名「…京」ミヤコ
みやこ（…）名「…都」ミヤコ

むかい　(名)　向ヒ合フコト。

むかいあう　(向ヒ合フ)　(自動・四段)　互ニ向ヒ合フ。

むかいかぜ　(向カヒ風)　(名)　逆風。

むかいかぜ　(向カヒ風)　(名)　逆風。

むかいがわ　(向カヒ側)　(名)　向ヒ合フ側。

むかいがわ　(向カヒ側)　(名)　向ヒ合フ側。

むかいざま　(向カヒ様)　(名)　向ヒ合フ様子。

むかいざま　(向カヒ様)　(名)　向ヒ合フ様子。

むかいじま　(向カヒ島)　(名)　向ヒ合フ島。

むかいじま　(向カヒ島)　(名)　向ヒ合フ島。

むかいしも　(向カヒ霜)　(名)　向ヒ合フ霜。

むかいしも　(向カヒ霜)　(名)　向ヒ合フ霜。

むかいず　(向カヒ図)　(名)　向ヒ合フ図。

むかいず　(向カヒ図)　(名)　向ヒ合フ図。

むかいだち　(向カヒ立)　(名)　向ヒ合フ立チ。

むかいだち　(向カヒ立)　(名)　向ヒ合フ立チ。

むかいて　(向カヒ手)　(名)　向ヒ合フ手。

むかいて　(向カヒ手)　(名)　向ヒ合フ手。

むかいどり　(向カヒ鳥)　(名)　向ヒ合フ鳥。

むかいどり　(向カヒ鳥)　(名)　向ヒ合フ鳥。

むかいなり　(向カヒ形)　(名)　向ヒ合フ形。

むかいなり　(向カヒ形)　(名)　向ヒ合フ形。

むかいにし　(向カヒ西)　(名)　向ヒ合フ西。

むかいにし　(向カヒ西)　(名)　向ヒ合フ西。

むかいにわ　(向カヒ庭)　(名)　向ヒ合フ庭。

むかいにわ　(向カヒ庭)　(名)　向ヒ合フ庭。

むかいのかぜ　(向カヒ風)　(名)　逆風。

むかいのかぜ　(向カヒ風)　(名)　逆風。

むかいのしま　(向カヒ島)　(名)　向ヒ合フ島。

むかいのしま　(向カヒ島)　(名)　向ヒ合フ島。

むかいのしも　(向カヒ霜)　(名)　向ヒ合フ霜。

むかいのしも　(向カヒ霜)　(名)　向ヒ合フ霜。

むかいのず　(向カヒ図)　(名)　向ヒ合フ図。

むかいのず　(向カヒ図)　(名)　向ヒ合フ図。

むかいのだち　(向カヒ立)　(名)　向ヒ合フ立チ。

むかいのだち　(向カヒ立)　(名)　向ヒ合フ立チ。

むかいのて　(向カヒ手)　(名)　向ヒ合フ手。

むかいのて　(向カヒ手)　(名)　向ヒ合フ手。

むかいのどり　(向カヒ鳥)　(名)　向ヒ合フ鳥。

むかいのどり　(向カヒ鳥)　(名)　向ヒ合フ鳥。

むかいのなり　(向カヒ形)　(名)　向ヒ合フ形。

むかいのなり　(向カヒ形)　(名)　向ヒ合フ形。

むかいのにし　(向カヒ西)　(名)　向ヒ合フ西。

むかいのにし　(向カヒ西)　(名)　向ヒ合フ西。

むかいのにわ　(向カヒ庭)　(名)　向ヒ合フ庭。

むかいのにわ　(向カヒ庭)　(名)　向ヒ合フ庭。

むかいのはま　(向カヒ浜)　(名)　向ヒ合フ浜。

むかいのはま　(向カヒ浜)　(名)　向ヒ合フ浜。

むかいのひ　(向カヒ火)　(名)　向ヒ合フ火。

むかいのひ　(向カヒ火)　(名)　向ヒ合フ火。

むかいのまど　(向カヒ窓)　(名)　向ヒ合フ窓。

むかいのまど　(向カヒ窓)　(名)　向ヒ合フ窓。

むかいのみち　(向カヒ道)　(名)　向ヒ合フ道。

むかいのみち　(向カヒ道)　(名)　向ヒ合フ道。

むかいのむら　(向カヒ村)　(名)　向ヒ合フ村。

むかいのむら　(向カヒ村)　(名)　向ヒ合フ村。

むかいのやま　(向カヒ山)　(名)　向ヒ合フ山。

むかいのやま　(向カヒ山)　(名)　向ヒ合フ山。

むかいのやど　(向カヒ宿)　(名)　向ヒ合フ宿。

むかいのやど　(向カヒ宿)　(名)　向ヒ合フ宿。

むかいはま　(向カヒ浜)　(名)　向ヒ合フ浜。

むかいはま　(向カヒ浜)　(名)　向ヒ合フ浜。

むかいび　(向カヒ火)　(名)　◉(向カヒ)(一)ムカフニ此方カラ向カフ火。(二)先方ノ火ヲ向カヒテ此方カラモ火ヲカケテ防ギ止メルコト(日本紀)(三)ムカフノ火ノ略。

むかいびかぜ　(向カヒ火風)　(名)　逆風。

むかいびうち　(向カヒ火打)　(名)　◉(向カヒ)(一)ムカフノ人ニ打ツ合図。(二)先方カラ向カフニ打ツ火打。

むかいびばら　(向カヒ火腹)　(名)　現在ノ妻ノ生ンダ子ニ対シテ外ノ女ノ生ンダ子ヲ呼ブ語。

むかいびび　(向カヒ火火)　(名)　(一)燃エ移ル火ニ向カッテ此方カラモ火ヲカケテ防ギ止メル火。(二)物語リ　古代ニ於ケル一ノ武器。

むかいびのかたり　(第六ガ)(第六上)名　(一)物語リ　古代ニ於ケル一ノ武器。

むかいびのやり　(第六ガ)(第六上)名　(一)物語リ　古代ニ於ケル一ノ武器。

むかいびやり　(向カヒ火)(第六ガ)(第六上)名　(一)物語リ　古代ニ於ケル一ノ武器。

むかいびやり　(向カヒ火)(第六ガ)(第六上)名　(一)物語リ　古代ニ於ケル一ノ武器。

むかいぶね　(向カヒ船)　(名)　(一)向ヒ合フ船。(二)先方ノ船ニ向カッテ来ル船。

むかいぶね　(向カヒ船)　(名)　(一)向ヒ合フ船。(二)先方ノ船ニ向カッテ来ル船。

むかいまど　(向カヒ窓)　(名)　向ヒ合フ窓。

むかいまど　(向カヒ窓)　(名)　向ヒ合フ窓。

むかいみち　(向カヒ道)　(名)　向ヒ合フ道。

むかいみち　(向カヒ道)　(名)　向ヒ合フ道。

むかいむら　(向カヒ村)　(名)　向ヒ合フ村。

むかいむら　(向カヒ村)　(名)　向ヒ合フ村。

むかいやま　(向カヒ山)　(名)　向ヒ合フ山。

むかいやま　(向カヒ山)　(名)　向ヒ合フ山。

むかいやど　(向カヒ宿)　(名)　向ヒ合フ宿。

むかいやど　(向カヒ宿)　(名)　向ヒ合フ宿。

むかう　(向フ)　(自動・四段)　(一)ムカフニ在リ(二)ムカフヲ向ク(三)ムカフニ行ク(四)ムカフニ来ル(五)ムカフニ対シテ事ヲ為ス(六)ムカフニ対シテ物ヲ為ス(七)ムカフニ対シテ物ヲ取ル(八)ムカフニ対シテ物ヲ与フ(九)ムカフニ対シテ物ヲ受ク(十)ムカフニ対シテ物ヲ言フ(十一)ムカフニ対シテ物ヲ聞ク(十二)ムカフニ対シテ物ヲ見ル(十三)ムカフニ対シテ物ヲ思フ(十四)ムカフニ対シテ物ヲ知ル(十五)ムカフニ対シテ物ヲ教フ(十六)ムカフニ対シテ物ヲ学ブ(十七)ムカフニ対シテ物ヲ習フ(十八)ムカフニ対シテ物ヲ試ム(十九)ムカフニ対シテ物ヲ争フ(二十)ムカフニ対シテ物ヲ比ブ(二十一)ムカフニ対シテ物ヲ較ブ(二十二)ムカフニ対シテ物ヲ量ル(二十三)ムカフニ対シテ物ヲ計ル(二十四)ムカフニ対シテ物ヲ測ル(二十五)ムカフニ対シテ物ヲ図ル(二十六)ムカフニ対シテ物ヲ謀ル(二十七)ムカフニ対シテ物ヲ企ム(二十八)ムカフニ対シテ物ヲ試ム(二十九)ムカフニ対シテ物ヲ争フ(三十)ムカフニ対シテ物ヲ比ブ(三十一)ムカフニ対シテ物ヲ較ブ(三十二)ムカフニ対シテ物ヲ量ル(三十三)ムカフニ対シテ物ヲ計ル(三十四)ムカフニ対シテ物ヲ測ル(三十五)ムカフニ対シテ物ヲ図ル(三十六)ムカフニ対シテ物ヲ謀ル(三十七)ムカフニ対シテ物ヲ企ム

むかう　(向フ)　(自動・四段)　(一)ムカフニ在リ(二)ムカフヲ向ク(三)ムカフニ行ク(四)ムカフニ来ル(五)ムカフニ対シテ事ヲ為ス(六)ムカフニ対シテ物ヲ為ス(七)ムカフニ対シテ物ヲ取ル(八)ムカフニ対シテ物ヲ与フ(九)ムカフニ対シテ物ヲ受ク(十)ムカフニ対シテ物ヲ言フ(十一)ムカフニ対シテ物ヲ聞ク(十二)ムカフニ対シテ物ヲ見ル(十三)ムカフニ対シテ物ヲ思フ(十四)ムカフニ対シテ物ヲ知ル(十五)ムカフニ対シテ物ヲ教フ(十六)ムカフニ対シテ物ヲ学ブ(十七)ムカフニ対シテ物ヲ習フ(十八)ムカフニ対シテ物ヲ試ム(十九)ムカフニ対シテ物ヲ争フ(二十)ムカフニ対シテ物ヲ比ブ(二十一)ムカフニ対シテ物ヲ較ブ(二十二)ムカフニ対シテ物ヲ量ル(二十三)ムカフニ対シテ物ヲ計ル(二十四)ムカフニ対シテ物ヲ測ル(二十五)ムカフニ対シテ物ヲ図ル(二十六)ムカフニ対シテ物ヲ謀ル(二十七)ムカフニ対シテ物ヲ企ム

むかえ　(迎エ)　(名)　迎エルコト。

むかえ　(迎エ)　(名)　迎エルコト。

むかえうま　(迎エ馬)　(名)　迎エニ行ク馬。

むかえうま　(迎エ馬)　(名)　迎エニ行ク馬。

むかえかご　(迎エ籠)　(名)　迎エニ行ク籠。

むかえかご　(迎エ籠)　(名)　迎エニ行ク籠。

むかえぐるま　(迎エ車)　(名)　迎エニ行ク車。

むかえぐるま　(迎エ車)　(名)　迎エニ行ク車。

むかえこし　(迎エ輿)　(名)　迎エニ行ク輿。

むかえこし　(迎エ輿)　(名)　迎エニ行ク輿。

むかえじょう　(迎エ状)　(名)　迎エニ行ク状。

むかえじょう　(迎エ状)　(名)　迎エニ行ク状。

むかえぶね　(迎エ船)　(名)　迎エニ行ク船。

むかえぶね　(迎エ船)　(名)　迎エニ行ク船。

むかえる　(迎エル)　(他動・下一)　◉(向)むかう　向クヤウニスル。

むかえる　(迎エル)　(他動・下一)　◉(向)むかう　向クヤウニスル。

むかし　(昔)　(名)　(一)過ギ去ッタ時。(二)古風デ律義。

むかし　(昔)　(名)　(一)過ギ去ッタ時。(二)古風デ律義。

むかしい　(昔イ)　(形)　(一)昔ノ通リデアル。(二)古風デ律義デアル。

むかしい　(昔イ)　(形)　(一)昔ノ通リデアル。(二)古風デ律義デアル。

むかしおとこ　(昔男)　(名)　(一)昔ノ人ノ男。(二)伊勢物語ノ主人公ノ在原業平ノ称。

むかしおとこ　(昔男)　(名)　(一)昔ノ人ノ男。(二)伊勢物語ノ主人公ノ在原業平ノ称。

むかしおんな　(昔女)　(名)　(一)昔ノ人ノ女。(二)伊勢物語ノ主人公ノ女ノ称。

むかしおんな　(昔女)　(名)　(一)昔ノ人ノ女。(二)伊勢物語ノ主人公ノ女ノ称。

むかしがたり　(昔語リ)　(名)　(一)昔ノ事ヲ語ルコト。(二)昔ノ事ヲ語ル人。

むかしがたり　(昔語リ)　(名)　(一)昔ノ事ヲ語ルコト。(二)昔ノ事ヲ語ル人。

むかしがたる　(昔語ル)　(自動・四段)　昔ノ事ヲ語ル。

むかしがたる　(昔語ル)　(自動・四段)　昔ノ事ヲ語ル。

むかしぎ　(昔キ)　(名)　昔ノ着物。

むかしぎ　(昔キ)　(名)　昔ノ着物。

むかしぎる　(昔キル)　(自動・上一)　昔ノ着物ヲ着ル。

むかしぎる　(昔キル)　(自動・上一)　昔ノ着物ヲ着ル。

むかしぐさ　(昔草)　(名)　(一)昔ノ草。(二)昔ノ事ヲ語ル人。

むかしぐさ　(昔草)　(名)　(一)昔ノ草。(二)昔ノ事ヲ語ル人。

むかしぐせ　(昔癖)　(名)　昔ノ癖。

むかしぐせ　(昔癖)　(名)　昔ノ癖。

むかしぐち　(昔口)　(名)　昔ノ口調。

むかしぐち　(昔口)　(名)　昔ノ口調。

むかしぐみ　(昔組)　(名)　昔ノ組。

むかしぐみ　(昔組)　(名)　昔ノ組。

むかしぐるい　(昔狂)　(名)　昔ノ事ヲ語ル人。

むかしぐるい　(昔狂)　(名)　昔ノ事ヲ語ル人。

むかしぐるう　(昔狂フ)　(自動・四段)　昔ノ事ヲ語ル。

むかしぐるう　(昔狂フ)　(自動・四段)　昔ノ事ヲ語ル。

むかしげ　(昔ゲ)　(形)　(一)昔ノ通リデアル。(二)古風デ律義デアル。

むかしげ　(昔ゲ)　(形)　(一)昔ノ通リデアル。(二)古風デ律義デアル。

むかしごと　(昔事)　(名)　昔ノ事。

むかしごと　(昔事)　(名)　昔ノ事。

むかしごろも　(昔衣)　(名)　昔ノ着物。

むかしごろも　(昔衣)　(名)　昔ノ着物。

むかしごろもきる　(昔衣キル)　(自動・上一)　昔ノ着物ヲ着ル。

むかしごろもきる　(昔衣キル)　(自動・上一)　昔ノ着物ヲ着ル。

むかしさま　(昔様)　(名)　昔ノ様。

むかしさま　(昔様)　(名)　昔ノ様。

むかしざま　(昔様)　(名)　昔ノ様。

むかしざま　(昔様)　(名)　昔ノ様。

むかしざまに　(昔様ニ)　(副)　昔ノ様ニ。

むかしざまに　(昔様ニ)　(副)　昔ノ様ニ。

むかしじょうず　(昔上手)　(名)　昔ノ事ヲ語ル人。

むかしじょうず　(昔上手)　(名)　昔ノ事ヲ語ル人。

むかしだち　(昔立)　(名)　昔ノ風。

むかしだち　(昔立)　(名)　昔ノ風。

むかしだつ　(昔立ツ)　(自動・四段)　昔ノ風ニナル。

むかしだつ　(昔立ツ)　(自動・四段)　昔ノ風ニナル。

むかしだてる　(昔立テル)　(他動・下一)　昔ノ風ニスル。

むかしだてる　(昔立テル)　(他動・下一)　昔ノ風ニスル。

むかしづく　(昔付ク)　(自動・四段)　昔ノ風ニナル。

むかしづく　(昔付ク)　(自動・四段)　昔ノ風ニナル。

むかしづける　(昔付ケル)　(他動・下一)　昔ノ風ニスル。

むかしづける　(昔付ケル)　(他動・下一)　昔ノ風ニスル。

むかしづくり　(昔作リ)　(名)　昔ノ風ニ作ルコト。

むかしづくり　(昔作リ)　(名)　昔ノ風ニ作ルコト。

むかしづくる　(昔作ル)　(他動・四段)　昔ノ風ニ作ル。

むかしづくる　(昔作ル)　(他動・四段)　昔ノ風ニ作ル。

むかしづくろう　(昔作ロウ)　(他動・四段)　昔ノ風ニ作ロウ。

むかしづくろう　(昔作ロウ)　(他動・四段)　昔ノ風ニ作ロウ。

むかしづくろえる　(昔作ロエル)　(他動・下一)　昔ノ風ニ作ル。

むかしづくろえる　(昔作ロエル)　(他動・下一)　昔ノ風ニ作ル。

むかしづくろわす　(昔作ロワス)　(他動・四段)　昔ノ風ニ作ラセル。

むかしづくろわす　(昔作ロワス)　(他動・四段)　昔ノ風ニ作ラセル。

むかしづくろわせる　(昔作ロワセル)　(他動・下一)　昔ノ風ニ作ラセル。

むかしづくろわせる　(昔作ロワセル)　(他動・下一)　昔ノ風ニ作ラセル。

むかしづくろわれる　(昔作ロワレル)　(他動・下一)　昔ノ風ニ作ラレ

おもねる　(動)(ラ五)(ラ四)　阿諛ス。ヘツラフ。
おもねり　(名)(ラ四)　阿諛ヘツラフコト。
おもの　(名)(ラ四)　喪服。
おもはゆし　(形)(ク)(ラ四)　面目ナシ。
おもはゆさ　(名)(ラ四)　面目ナキコト。
おもはゆげ　(形動)(ナリ)(ラ四)　面目ナキサマ。
おもはゆがる　(動)(ラ四)　面目ナキ様ヲスル。
おもはゆがり　(名)(ラ四)　面目ナキ様ヲスルコト。
おもはゆがらす　(動)(サ四)　面目ナキ様ヲサス。
おもはゆがらせ　(名)(ラ四)　面目ナキ様ヲサスコト。
おもはゆき　(名)(ラ四)　面目ナキコト。
おもはゆさ　(名)(ラ四)　面目ナキコト。
おもはゆし　(形)(ク)(ラ四)　面目ナシ

むかう（全字）自動、四段、{往}ク。◉ニ以テ方向ヲ指シ、又ソノ動作ヲ表ス。
むかう（第一上）名、{…面}ソノ方ノ面。
むかう（第一上）名、{…方}ソノ方ノ方角。
むかう（第一上）名、{…側}ソノ方ノ側。
むかう（第一上）名、{…岸}ソノ方ノ岸。
むかう（第一上）名、{…端}ソノ方ノ端。
むかう（第一上）名、{…隅}ソノ方ノ隅。
むかう（第一上）名、{…町}ソノ方ノ町。
むかう（第一上）名、{…村}ソノ方ノ村。
むかう（第一上）名、{…国}ソノ方ノ国。
むかう（第一上）名、{…家}ソノ方ノ家。
むかう（第一上）名、{…山}ソノ方ノ山。
むかう（第一上）名、{…川}ソノ方ノ川。
むかう（第一上）名、{…海}ソノ方ノ海。
むかう（第一上）名、{…野}ソノ方ノ野。
むかう（第一上）名、{…原}ソノ方ノ原。
むかう（第一上）名、{…道}ソノ方ノ道。
むかう（第一上）名、{…路}ソノ方ノ路。
むかう（第一上）名、{…口}ソノ方ノ口。
むかう（第一上）名、{…戸}ソノ方ノ戸。
むかう（第一上）名、{…門}ソノ方ノ門。
むかう（第一上）名、{…庭}ソノ方ノ庭。
むかう（第一上）名、{…窓}ソノ方ノ窓。
むかう（第一上）名、{…縁}ソノ方ノ縁。
むかう（第一上）名、{…座敷}ソノ方ノ座敷。
むかう（第一上）名、{…台所}ソノ方ノ台所。
むかう（第一上）名、{…裏}ソノ方ノ裏。
むかう（第一上）名、{…表}ソノ方ノ表。
むかう（第一上）名、{…前}ソノ方ノ前。
むかう（第一上）名、{…後}ソノ方ノ後。
むかう（第一上）名、{…上}ソノ方ノ上。
むかう（第一上）名、{…下}ソノ方ノ下。
むかう（第一上）名、{…左}ソノ方ノ左。
むかう（第一上）名、{…右}ソノ方ノ右。
むかう（第一上）名、{…中}ソノ方ノ中。
むかう（第一上）名、{…外}ソノ方ノ外。
むかう（第一上）名、{…内}ソノ方ノ内。
むかう（第一上）名、{…隣}ソノ方ノ隣。
むかう（第一上）名、{…向}ソノ方ノ向。
むかう（第一上）名、{…筋}ソノ方ノ筋。
むかう（第一上）名、{…通}ソノ方ノ通。
むかう（第一上）名、{…辺}ソノ方ノ辺。
むかう（第一上）名、{…近}ソノ方ノ近。
むかう（第一上）名、{…遠}ソノ方ノ遠。
むかう（第一上）名、{…先}ソノ方ノ先。
むかう（第一上）名、{…奥}ソノ方ノ奥。
むかう（第一上）名、{…端}ソノ方ノ端。
むかう（第一上）名、{…隅}ソノ方ノ隅。
むかう（第一上）名、{…角}ソノ方ノ角。
むかう（第一上）名、{…辺}ソノ方ノ辺

め

め　五十音ヲ行第四ノ假名。ニノ音ハ下ニラ變ヲレバ又ヱト合ハヤウニ聞ユルコトアリ。ゆうべ(夕)ノ轉。

め　(上)名・(自)(一)物ガ繁殖シ又ハ增殖ノ際ノ回數ノ稱。(二)物ノ數ヲ增ス形ヲナス、又ハ增ス意ヲ以テ、一體ノ物ノ(三)表面ノ筋(四)(古)ものゝすぢ・ナドニ刻ミ附ケタ一體ノ物ノ(五)木理・(六)(古)ものゝ度・(七)ギクシャ・ニ木理・(八)(古)ものゝ紋又ハ紋ヲ織リ出シタ布ノ織目・ニ織リ出シタ紋・ニ染メ出シタ紋・ニ織リ出シタ紋ノ織目・ニ染メ出シタ紋ノ染目

ルヲ他ノ船ニ見セルヿ。―ヲ他ノ船ニ見セル。
○めうとぜん（名）{夫婦}　メヲトゼン。
○めうとぢゃわん（名）{夫婦}　メヲトヂャワン。
○めうとづき（名）{夫婦}　メヲトヅキ。
○めうとばし（名）{夫婦}　メヲトバシ。
○めうとぶね（名）{夫婦}　メヲトブネ。
○めうとぼし（名）{夫婦}　メヲトボシ。
○めうとまめ（名）{夫婦}　メヲトマメ。
○めうとやま（名）{夫婦}　メヲトヤマ。
○めうとわり（名）{夫婦}　メヲトワリ。
○めうとをし（名）{夫婦}　メヲトヲシ。
○めうとをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナ。
○めうとをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナザカ。
○めうとをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヤマ。
○めうとをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナワリ。
○めうとをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲシ。
○めうとをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんな（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなざか（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナザカ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなやま（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヤマ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなわり（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナワリ。
○めうとをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをんなをし（名）{夫婦}　メヲトヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲンナヲシ。
○めうとをんな

めうり（第一上）名。メバシ。
めうりばしり（第一上）名。メバシリ。
++めうりばたあ（第一二上）名。{俚}　マダラキ。
●めうりばやイ（第三上）形。めばやしノ近體。
めうりばやさ（第二上）名。メバヤイ度合ヒ。
○めうりばやシ（……）形。{目早シ}　メザトイ。
++めうりばり（全平）名。{……張り}　物ノ際ノ目ノ細ク張リ詰ガコト。　物ノ際ノ目ノ細ク張リ詰ガコト。　═ハ漉紙ナド紙ノ目ガ細ク詰ガコト。
めうる（……）名。　カカモノニ似テ眼ノ様出シ味ノ有ル魚。
めうろ（第二上）名。{痣}　メカイ。═女痣。
（名）ふひ（胡）ノ義。　我ガ兄弟ノ娘。═外甥。
○めうん（……）名。{馬鹿}　馬鹿ノ下衆。
○めおし（第二上）形。{目急シ}　目立ツ。
●めおしイ（第三上）形。　めおしノ近體。
めおしさ（第二上）名。　メオシイ度合ヒ。
○めおとうし（第二シ）（第四上）形。{め（目）ヨリ（給）ノ義}　目ヲ放シテ物ヲ見ル様シイ。
●めおとうしイ（……）（第三上）形。　前ノ近體。
めおとうしさ（……）（第四上）名。　メオトグルシイ度合ヒ。　═クラベ見ル。
++めおもひ（第二上）名。{……思ひ}　（一）愛ノ感覚。（二）男女ノ愛ヲ合ハス主ト會フコト。
○めおんな（……）形。{女女シ}　女ラシイ。═カヨワイ（柔弱ナ男子ニ）。
●めおんなイ（第三上）形。　前ノ近體。
めおんなさ（第二上）名。　メオンナイ度合ヒ。
◀めかす（全平）名。　みみずノ訛リ。
○めかぢや（第一上）形。{目ヲ奇}　イヤサコ。
○めかぢやに（……）副。　前ノ前調體。
○めかご（第二上）名。{目玄字}{めごへめごと}　會ネノ敬語。婦人ノ語。
○めかさ（第二上）名。{……酢}　眠ノ滅。
○めかさる（第一上）形。　水ギノ様調體。═ミ。
めかさるに（……）副。{目ヲ遮ニ}　見ル目ガ遮ニ。
++めかた（全平）名。{目方}　（一）目分量デ秤ル。

═眼病者。　═目ノ前。═メサキ。（二）事。
++めがはり（第二上）名。{目遣り}　（一）
○めがら（第二上）名。{蛾鳥羽}　蛾ノ羽ヲ名ノ翼ニ付テ名ノ翼ヲ蛾ノ羽ノ様ニ付テ名ノ翼ヲ蛾ノ羽ノ様ニ付テ名ノ翼ヲ蛾ノ羽ノ様

ゆんべ (名詞)「昨夜」ノ訛。

ゆんべ (名詞)「昨夜」ノ訛。

ゆんべ (名詞)「昨夜」ノ訛。

もちあるく (動)〔(四)〕{持歩く} 携帯して歩く。
もちあわせ (名)〔(一)〕{持合} 其時丁度所持シテヰル。
●もちあわせない (連)〔(一)〕{持合無} 前ノ近語。
もちあわせる (他動)〔下一〕{持合} 其時丁度所持シテヰル。
もちあわせ (名)〔(一)〕{持合} 其時丁度所持シテヰル

◁ものがたり（……）（第四上）名。{……話り}　物語。
◁ものがたる（……）（第四上）他動。{……話る}　物語ル。
◁ものがたりぶみ（……）（第四上）名。{……文}　物語ノ書。
◁ものがたりもの（……）（第四上）名。{……者}　物語ノ人。
◁ものがたりもの（……）（第四上）名。{……物

もも　(名)　石榴油。■リ。

◁ももいろ　(名)(…)　桃色。

◁ももいろ　(名)(…)(…)　桃色。

◁ももいろ　(名)(…)(…)　桃色。

ももいろ　(形)(…)(…)　桃色ノ。

ももいろ　(形)(…)(…)　桃色ノ。

ももいろ　(形)(…)(…)　桃色ノ

ヤマ　山ノ名。

ヤマ　山ノ名。

ヤマ　山ノ名。

ゆみ　ゆめ　ゆめ

ゆみ　ゆめ　ゆめ

ゆふべ〔名〕{夕方}夕方ニナル迄ノ間。夕暮ノ頃。

よみ・よみ（名）{読み}（漢字）{読}{み}（漢字）{読}{み}（漢字）{読}{

ら

ら 五十音ら行第一ノ假名。此行ノ假名ハ常ニ舌ヲ上顎ト歯トノ間ニ觸レテ出ス音ヲ以テ「舌音」ト名ヅケ、五行ニ分ツ時ハ「舌音」ニ配シ、又半濁音ヲモ有スル故ニ他ノ諸行ニ通ズル音ハ大抵皆此行ヲ以テ示ス。

ら {名} 漢語「羅」ノ略。

ら {助動} {四型} 自動詞ノ未然形ニ附キテ、其動作ノ行ハルル意ヲ表ス。

ら {助動} {四型} 他動詞ノ未然形ニ附キテ、其動作ノ行ハルル意ヲ表ス。

ら {助動} {四型} 形容詞ノ語幹ニ附キテ、其形容詞ノ意ヲ表ス。

ら {助動} {四型} 動詞ノ未然形ニ附キテ、其動作ノ行ハルル

らんぷ（…）名｛…燈｝洋語。ランプ。

らんぷ（…）名｛…油｝洋語。ランプ油。

らんぷ（…）名｛…火｝洋語。ランプ火。

らんぷ（…）名｛…皿｝洋語。ランプ皿。

らんぷ（…）名｛…台｝洋語。ランプ台。

らんぷ（…）名｛…屋｝洋語。ランプ屋。

らんぷ（…）名｛…掃除｝洋語。ランプ掃除。

らんぷ（…）名｛…芯｝洋語。ランプ芯。

らんぷ（…）名｛…心｝洋語。ランプ心。

らんぷ（…）名｛…煤｝洋語。ランプ煤。

らんぷ（…）名｛…煙｝洋語。ランプ煙。

らんぷ（…）名｛…煙突｝洋語。ランプ煙突。

らんぷ（…）名｛…硝子｝洋語。ランプ硝子。

らんぷ（…）名｛…笠｝洋語。ランプ笠。

らんぷ（…）名｛…掛｝洋語。ランプ掛。

らんぷ（…）名｛…吊｝洋語。ランプ吊。

らんぷ（…）名｛…釣｝洋語。ランプ釣。

らんぷ（…）名｛…下｝洋語。ランプ下。

らんぷ（…）名｛…売｝洋語。ランプ売。

らんぷ（…）名｛…売人｝洋語。ランプ売人。

らんぷ（…）名｛…商｝洋語。ランプ商。

らんぷ（…）名｛…問屋｝洋語。ランプ問屋。

らんぷ（…）名｛…細工｝洋語。ランプ細工。

らんぷ（…）名｛…細工人｝洋語。ランプ細工人。

らんぷ（…）名｛…師｝洋語。ランプ師。

らんぷ（…）名｛…職｝洋語。ランプ職。

らんぷ（…）名｛…職人｝洋語。ランプ職人。

らんぷ（…）名｛…製造｝洋語。ランプ製造。

らんぷ（…）名｛…製造人｝洋語。ランプ製造人。

らんぷ（…）名｛…製造所｝洋語。ランプ製造所。

らんぷ（…）名｛…製造場｝洋語。ランプ製造場。

らんぷ（…）名｛…製造業｝洋語。ランプ製造業。

らんぷ（…）名｛…製造業者｝洋語。ランプ製造業者。

らんぷ（…）名｛…製造家｝洋語。ランプ製造家

らんぷ　(第一上)名「英語'Lamp」灯子製ノ火ヲトボス器。‖トノ間。

らんぶ　(…)名「洋語」{菜種}油ヲ入ル小瓶。

らんぷ　(第一上)名{…鐘}　字音。(一)上古、五節ノ舞ヒノ後ナド二殿上人ノ給ガ今樂類ノ短歌ヲ謡ヒ舞フ舞ヒノ間ニ行フ舞ヒ。ランプ。(二)後世能ノ舞ヒノ間ニ行フ舞ヒ。ランプ。

らんぶ　(…)名{洋語}{菜種}油ヲ入ル小瓶。

らんぷ　(全平)名{亂髮}　字音。亂レタル髮。

らんぷ　(第一上)名{…鐘}　字音。(一)上古、五節ノ舞ヒノ後ナド二殿上人ノ給ガ今樂類ノ短歌ヲ謡ヒ舞フ舞ヒノ間ニ行フ舞ヒ。ランプ。(二)後世能ノ舞ヒノ間ニ行フ舞ヒ。ランプ。

らんぶ　(…)名「洋語」

りうたつ（…）名 俗 ▲りうたち（…）名 ▲りうたち（第一上）名 立身。 ▲りうたつ（第一上）名 ▲りうたち（第一上）名 ▲りうたつ（第一上）名 ▲りうたち（第一上）名 ▲りうたつ（第一上）名 ▲りうたち（第一上）名

りゅうとう(龍頭)(名)(第一・二上)龍ノ頭ノ形ヲシタ飾リ。(二)龍ノ頭ノ形ヲシタ船首。

りゅうとう(流燈)(名)(第四上)水ニ流ス燈籠。

りゅうとう(流動)(名)(第四上)流レ動クコト。

りゅうとう(流動)(自サ)(第三)流レ動ク。

りゅうとう(流動)(名)(第四上)流レ動クコト。

りゅうとう(流動)(名)(第四上)流レ動クコト。

りゅうとう(流動)(名)(第四上)流レ動クコト

ふかぶか ＝深く。「―感謝する」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―頭を下げる」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―雪が積もる」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―椅子に腰掛ける」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―息を吸う」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―考え込む」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―悩む」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―祈る」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―眠る」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―沈む」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―落ち込む」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―悲しむ」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―嘆く」 ふかぶかと ［深深と］ ……と。「―苦しむ

(二七三一)

れんらく（……名）（連絡）連絡。
れんりつ（……名）（連立）連立。
れんりゃく（……名）（連略）連略。
れんりゅう（……名）（連隊）連隊。
れんりょう（……名）（連量）連量。
れんりょう（……名）（連領）連領。
れんりょう（……名）（連寮）連寮。
れんりょう（……名）（連漁）連漁

ゐ物やせ咽ぶ易の陽數丸ず始ず、即ヤ
最初ヲ九ツ時ニシ、時毎ニ位ヲ一ツ宛ヲ
ヤ字ヤ卜ノ卯酉ヲ六ツ、丑未ヲ八ツ、辰申
ヒ子ヲ十ツ時ニ當テ、是ヲ以テ八ツ、巳亥
ノ卯ニ一ツ、午ニ二ツ、未ニ三ツ、申ニ四ツ
ト次第ニ加ヘ、酉ニ五ツ、戌ニ六ツ、亥ニ七
ツ、子ニ八ツ、丑ニ九ツ、寅ニ十ツ、卯ニ十一
ツ、辰ニ十二ツ、巳ニ十三ツ、午ニ十四ツ、未
ニ十五ツ、申ニ十六ツ、酉ニ十七ツ、戌ニ十
八ツ、亥ニ十九ツ、子ニ二十ツ、丑ニ廿一ツ、
寅ニ廿二ツ、卯ニ廿三ツ、辰ニ廿四ツ、巳ニ
廿五ツ、午ニ廿六ツ、未ニ廿七ツ、申ニ廿八
ツ、酉ニ廿九ツ、戌ニ三十ツ、亥ニ卅一ツト
ス、此ノ數ヲ以テ、人ノ生レ年ノ干支ヲ算
ヘ、其ノ數ノ多キヲ以テ、其ノ人ノ本命ト
ス、

○ヒヨコ　■雛ノ孵リ立テ、ヒヨコ
ト成タル者ヲ云ヒ、又ハ、ヒヨコ
ト鳴ク故ニ、ヒヨコト云ヒ、又ハ、
ヒヨコヒヨコト歩ム故ニ、ヒヨコ
ト云ヒ、又ハ、ヒヨコヒヨコト
ト云ヒ、又ハ、ヒヨコヒヨコト
ト云ヒ、又ハ、ヒヨコヒヨコト

わうじ　{(王子)}　名。{(一)(一)}　国王ノ男子ノ総称。{(二)}　皇太子ノ称。{(三)}　王ノ尊称。{(四)}　神武天皇ノ皇子、神八井耳命ノ尊称。{(五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園。{(六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職。{(七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(四十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(四十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(四十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(四十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(四十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(四十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(四十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(四十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(四十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(四十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(五十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(五十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(五十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(五十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(五十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(五十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(五十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(五十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(五十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(五十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(六十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(六十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(六十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(六十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(六十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(六十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(六十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(六十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(六十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(六十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(七十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(七十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(七十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(七十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(七十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(七十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(七十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(七十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(七十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(七十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(八十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(九十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百二十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百三十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百四十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百五十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百六十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百七十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百八十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(百九十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百二十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百三十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百四十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百五十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百六十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百七十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百八十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(二百九十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百十五)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百十六)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百十七)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百十八)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百十九)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百二十)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百二十一)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百二十二)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百二十三)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百二十四)}　皇子ノ領地ニ設ケラレタル荘園ノ管理ヲ掌ル職ノ官名。{(三百二十五)}　

わおわ
わかわかた（名）{若方}　若者ノ方。
わかわかたち（名）{若方}　若者ノ方。
わかわかたち（名）{若方}　若者ノ方。
わかわかたち

かたれば…（第五イ父第三十三名）…貝（一）△官務大弁（第五イ父第三十三名）…本れば…（第四上父）…（第四ゆ）父第一人名…（一）△官務大弁（第五イ父第三十三名）…貝

わらは　(…)　妾ノ雅語　女ノ自称ノ語　(…)　(…)　(…)

わらは　(全平)名　(…)童
わらはべ　(全平)名　(…)童
わらはべ　(全平)名　(…)童
わらび　(第二上)名　(…)蕨
わらびて　(第二上)名　(…)蕨手
わらびなは　(第五ワ)(…)名　蕨ノ根ノ縄
わらびのこ　(第四上)名　蕨ノ根ノ取リ除ケタル粉
わらびもち　(第三上)名　蕨ノ根ノ粉ヲ以テ製シタル餅
わらひ　(第一上)名　笑
わらひえ　(第三エ)(全平)名　笑ヒ声
わらひがほ　(第三ガ)名　笑ヒ顔
わらひぐさ　(第三ワ)名　笑ヒ草
わらひごと　(第三ワ)名　笑ヒ事
わらひごと　(第四上)名　笑ヒ事

わ

わ 五十音ハ行第二ノ假名。

わ (上)名。◉{井}{水ノ如ク(集)ノ義} 井戸。◉{環}{輪ノ轉用水ノ溜ヅ}＝井モキ。◉{國}ヲキノシリサシ。

わ (平)名。◉{第一家}{類ガ居スル故トイフ}(一)ものの七七ぶたノ總名＝ホノコ。(二)ホコシン。◉{姿}{前ノ轉}(一)ヒトノ名。(二)方角ノ名。◉ヌヒノコ＝ホスイ(和名抄)。◉{圓}{頭ノ左ニアル。上ハ食道ヲ受ケ下ハ胃ニ通ズル}＝クシフクロ。＝ホフクロ。◉{感}{感}感嘆詞。イキホヒ。＝感光。＝ヌモノガ遺シヌモノ。上ノ愛ノ琴。

わ (平)名。◉{第一家}{類ガ居スル故トイフ}(一)ものの七七ぶたノ總名＝ホノコ。(二)ホコシン。◉{姿}{前ノ轉}(一)ヒトノ名。(二)方角ノ名。◉ヌヒノコ＝ホスイ(和名抄)。◉{圓}{頭ノ左ニアル。上ハ食道ヲ受ケ下ハ胃ニ通ズル}＝クシフクロ。＝ホフクロ。◉

ねん　(第一上)名「…対」　己ガ生ム対、雌レテ
　ヰルノヲ出対ナイフ。
ねん　(第一上)名「…祝」　淡語「(一)冠ノ周囲ニ
　垣ノアル家」ニ皆厳、官舎ノ謂。一冷泉院」
ねんあ　(第一上)名「…粘」　淡語「(一)物ノ
　ネバネバシテ粘ルモノ」
ねんあ　(全平)名「…粘土」　淡語「(一)ネバネバ
　シ

あとがき

(一九五一)

を

を 五十音ワ行第五ノ假名。

を 〔上〕名。◎△〔一〕子ヲ生ズル動物。子ヲ孕ム性ヲ具ヘルモノ。此語ハ植物ニモ用イテ雄ヲ云フ。一男。一牡。一雄。〔二〕草ニテ花ノ實ヲ結ブ種ヲ具ヘル植物。一黍。一麻。一足尾キノ山田牛ルモノ。〔三〕ラヨト。一瓜葉菜

をだはらひやうぢやう（…）（第五上）名（小田原評定）
をだはらひやうぢやうす（…）（第五サ変）（小田原評定）
をだはらやき（第六上）名（小田原焼）
をだまき（第四上）名（苧環）
をだまきのいと（第四上）名（苧環ノ糸）
をだまきのくり（第四上）名（苧環ノ繰）
をだまきのくりいと（第四上）名（苧環ノ繰糸）
をだまきのくりかへし（第四上）名（苧環ノ繰返）
をだまきのくりかへしうた（第四上）名（苧環ノ繰返歌）
をだまきのくりかへしぶし（第四上）名（苧環ノ繰返節）
をだまきのくりかへしもの（第四上）名（苧環ノ繰返物）
をだまきのくりかへしものがたり（第四上）名（苧環ノ繰返物語）
をだまきのくりかへしものまね（第四上）名（苧環ノ繰返物真似）
をだまきのくりかへしものまねぶし（第四上）名（苧環ノ繰返物真似節）
をだまきのくりかへしものまねぶしうた（第四上）名（苧環ノ繰返物真似節歌）
をだまきのくりかへしものまねぶしうたひ（第四上）名（苧環ノ繰返物真似節歌人）
をだまきのくりかへしものまねぶしうたひめ（第四上）名（苧環ノ繰返物真似節歌人女）
をだまきのくりかへしものまねぶしうたひめのこ（第四上）名（苧環ノ繰返物真似節歌人女子）
をだまきのくりかへしものまねぶしうたひめのこのこと（第四上）名（苧環ノ繰返物真似節歌人女子ノ事）
をだまきのくりかへしものまねぶしうたひめのこのことをかたる（第四上）自動（苧環ノ繰返物真似節歌人女子ノ事ヲ語ル）
をだまきのくりかへしものまねぶしうたひめのこのことをかたること（第四上）名（苧環ノ繰返物真似節歌人女子ノ事ヲ語ル事）
をだまきのくりかへしものまねぶしうたひめのこのことをかたりいだす（第四サ変）他動（苧環ノ繰返物真似節歌人女子ノ事ヲ語リ出ス）
をだまきのくりかへしものまねぶしうたひめのこのことをかたりいだすこと（第四上）名（苧環ノ繰返物真似節歌人女子ノ事ヲ語リ出ス事

をとこ・をんな (全体)名。{男女}
をとこ・をんな (第四)名。{男女}
をとこ・をんな (第四)名。{男女}
をとこ・をんな (第四

をり・やなぎ（《第五ギ》《第三上》）名。〔折り柳〕元祿頃ノ男子ノ髪ノ一。實體不詳。風流洒落ナモノラシイ。—若風俗「をりやなぎトヲ一流結ヒ出シ」。■時時（源氏）。トキドキ。■をり（第一上）自動、一。をり（動）ノ近體。■ガ。

●をル（……）自動、四段。折リ返スヤウニ動ク（浪ノ）。

○をル（……）自動、下二。（折る）（一）曲ガリ屈ム。（二）曲ガリ切レル。（三）曲ガリ行ク。—路をれテ。（四）挫ケル。—負ケル。■屈服スル。をル（……）他動、四段。（……）（一）折レルヤウニスル。（二）折リ作ル（扇子、烏帽子ナド）。◎指ヲをる—（敗ヘル）。◎ガ（我）ヲをる—（屈服スル）。◎膝ヲをる—（挫ケル）。◎膝ヲをる—（屈服スル）。

をれ（第二上）名。ヲレルコト。又、折レタ物。

△をれ・がム（《第三ガ》《第三上》自動、四段。（折れ屈む—拜）むノ原語。

をれ・くぎ（《第四キ》《第四上》名。（一）ヲリクギ。（二）折レ損ジタ釘。■（二）▲死亡（東京）。

をれ・くち（第二上）名。（折れ口）（一）ヲレメ。（二）▲己レニ關係スル他人ノ家ニ死人ガアルコト（東京）。■レラ傾ク。—クヅヲル。

△をれ・だル（《第二ヨ》《第二上》自動、下二。折をれ・め（……）名。折レタ際ノ部。—折際。

●をれル（第二上）自動、二。■山鳥ノをろハツヲ。

近體。

△をろ（第一上）名。ろ、助辭。尾ト同ジ語。—

△をろ・がム（《第二ガ》《第三上》自動、四段。をれがむノ轉。今ノをがむノ原語。

をろ・ち（第一上）名。（をろ（尾）ち（蟲）ノ義）スベテ、大ヤナ蛇。—大蛇。—ウハバミ。—日本紀「ヤチマタノをろち」。

△をを（……）感。應ヘル聲。—唯唯。—アイ。

○ををし（第二上）形。（雄雄し）男ラシイ。

●ををしィ（第二上）形。前ノ近體。■ヒ。

元祿頃ノ男子ノ髪ノ一。實體不詳。風流洒落ナモノラシイ。—若風俗「をりやなぎトヲ一流結ヒ出シ」。■時時（源氏）。トキドキ。■

●をル（第一上）自動、一。をり（動）ノ近體。■ガ。

△をル（……）自動、四段。折リ返スヤウニ動ク（浪ノ）。

○をル（……）自動、下二。（折る）（一）曲ガリ屈ム。（二）曲ガリ切レル。（三）曲ガリ行ク。—路をれテ。（四）挫ケル。—負ケル。■屈服スル。

をル（……）他動、四段。（……）（一）折レルヤウニスル。（二）折リ作ル（扇子、烏帽子ナド）。◎指ヲをる—（敗ヘル）。◎ガ（我）ヲをる—（屈服スル）。◎膝ヲをる—（挫ケル）。

◎膝ヲをる—（屈服スル）。

をれ（第二上）名。ヲレルコト。又、折レタ物。

△をれ・がム（《第三ガ》《第三上》自動、四段。（折れ屈む—拜）むノ原語。

をれ・くぎ（《第四キ》《第四上》名。（一）ヲリクギ。（二）折レ損ジタ釘。■（二）▲死亡（東京）。

をれ・くち（第二上）名。（折れ口）（一）ヲレメ。（二）▲己レニ關係スル他人ノ家ニ死人ガアルコト（東京）。■レラ傾ク。—クヅヲル。

△をれ・だル（《第二ヨ》《第二上》自動、下二。折をれ・め（……）名。折レタ際ノ部。—折際。

●をれル（第二上）自動、二。■山鳥ノをろハツヲ。

近體。

△をろ（第一上）名。ろ、助辭。尾ト同ジ語。—

△をろ・がム（《第二ガ》《第三上》自動、四段。をれがむノ轉。今ノをがむノ原語。

をろ・ち（第一上）名。（をろ（尾）ち（蟲）ノ義）スベテ、大ヤナ蛇。—大蛇。—ウハバミ。—日本紀「ヤチマタノをろち」。

△をを（……）感。應ヘル聲。—唯唯。—アイ。

○ををし（第二上）形。（雄雄し）男ラシイ。

●ををしィ（第二上）形。前ノ近體。■ヒ。

ヲヲシクアル度合イヲ奉行。

△をん・ぎ（……）名。エンノザ。■—物シリゾサ。

をん・じ（……）名。（遠志）漢語。ヒメハギ。

○をん・しう（全平）名。（怨讐）漢語。怨敵。

をん・じう（……）根。（温柔）漢語。モノヤハラカ。—心地ヨク柔カイコト。

をんじう・きやう（《第五、六キョ合》《第三上》名。（……郷）（一）色里。（二）圍房。

をん・しつ（全平）名。（温室）漢語。（一）温イ室。（二）ムロ。

◎をつ（……）《第一上》名。（英語 Watch）タヲヲ。

をつと（……）《第一上》名。をとこ。

をつと・せい（……）《第二上》名。（温厚）漢語。原来、腥肉獣ノ臓ト、勢ト、畢丸トノ稱。滋強剤。◎（胞胎獣）（前ノ語カラ通ジテ）海獣。北海ニ居、形チもしかニ似、全身ノ毛殆ド黒イ。—ウニウ。

▲をん（……）名。を（雄）ノ音便。

をん（……）名。漢語。◎（温）（一）アタタカサ。—アタタカイ（普通ニ熟語トシテモ用ヰル）。■質、オトナシク人ニ忤ラハヌコト。

◎（……）◎（瘟）疫病（……）—（瘟疫）。

（……）◎（瘟）疫病（……）—（瘟疫）。

◎（……）◎（瘟）疫病神。（瘟鬼）

■物學デ。—温血動物。

漢語。◎疫病神。（瘟鬼）

■物學デ。—温血動物。

をん・がく（《第三ガ》《第三上》名。（……音）漢語。

■ヌヅキル。

をん・がん（《第三ガ》《第三上》自動、四段。（温血）字音。温イ血動

をん・がん（《第三ガ》《第三上》名。（……音）漢語。

■ヌヅキル。

をん・がん（《第三ガ》《第三上》自動、四段。（温血）字音。温イ血動

をん・がん（《第三ガ》《第三上》名。（……音）漢語。

■ヌヅキル。

をん・げん（《第三ゲ》《第三上》名。（……言）漢語。

■ヌヅキル。

をん・こ（第一上）名。（……故）漢語。温雅忠實。

をん・こく（《第三コ》《第三上》名。（遠國）字音。

■をんこくノ人。

をん・こく（《第三コ》《第三上》名。（……、第六、七ヨ合）《……》

日本大辭書

畢

○をんち（……）根。（温遅）漢語。運緩。■タキ。

をん・てき（……）名。（怨敵）漢語。温イ程度。

をん・ど（全平）名。（温度）漢語。温イ程度。

をんどり（……）名。ヲトリ（雄鳥）ノ轉。

をんな（第三上）名。（女）（一）をみなノ音便。

（二）婦。■婦人。■婦女。■女子。■女性。■女人。■メ。■メノコ。—ヲウナ。—ヲナゴ。（二）下女。（三）色ヲンナ。◎女ニナル—（月經ノ道ガ通ジ始メル）。◎女ヲコシラヘル—（情婦ヲ持ツ）。■り」上古、女ノ位ノ稱。

△をんな・かうむり（《第四コ》《第四上》名。（……冠をんなが・さ（《第四ガ》《……》名。

をんなが・さ（《第四ガ》《……》名。實體頗迄流行シタ婦人ノ笠—塵塚物語「をんながさトテ菅ニテ大キク、飛脚ノ三度笠ヤウナルヲ用井タリ。紐ハ後ロノ方ヲ輪ニナシ、髻ノ下ヘ掛ケ、頷ノ下ニテ結ブナリ」。

をんながた（……）《全平》名。女ニ打扮ッ俳優。處女ニノミナルノヲむすめがた（小旦）、專ヲをんながたノ主トナルノヲたてをやまトイフ。■旦。—ヲヤマ。

をんなかづら（第四上）名。（女葛）川莒。—

△をんなが・み（《第四カ》《……》名。神女。

をんなかみゆひ（《第七イ》《……》名。婦人ノ髪ヲ結フ婦人（塵塚物語）。

をんなぎらひ（《第四キ、第六イ》《……》根。婦人ニ近ヅクノヲ好マヌコト（男ガ）。

をんなぎれ（第五上）名。

をんなぐさ（《第四ク》《全平》名。（女露）ニヨヅミ。■ハ。—女兒（……）婦女又ハ小兒。

△をんなわらは（《第六ワ》《第四上》名。（女童）

をんなわらべ（……）名。（……童）（一）メノワラ

をんなゑ（全平）名。美人ノ畫。—美人畫。

をんねん（第一上）名。（怨念）字音。怨ミノ念。—マウヂン。—ウラミ。

△をんの・ざ（……）名。（穩の座）ざえんのざ參考。

をんばう（《第三ホ》《全平》名。（温苞）綿イレ。■獄ノ一。寒氣厳イ處。—青蓮華地獄。

をんばつら（第一上）名。（嗢鉢羅）梵語。地獄ノ一。

をんびん（全平）根。（穩便）字音。手段ナド、オダヤカデアルコト。

をんりう（……）名。（温溜）漢語。腕ノ背部

をんりゃう（《第二リョ合》《第一上》名。（怨靈）字音。死靈ノウラミ。

をんりゃう（《……》《全平》名。（温涼）■温ト涼ト。

をんりゃう（《……》《全平》名。（温涼）漢語。

をんりゃう（《……》《……》根。（……良）漢語。ス

ナホ。

△をんな・うつき（第三上）名。

△をんな・を（……）名。（遠流）字音。シマナガ

をんは・ひでり（第四上）名。漢語（一）氣象ガ

をんなべや（全平）名。（一）侍女ノ部屋。（二）

スベテ、女ノ居ル室。—圍房。

○をんなめ（第三上）名。をむなめノ音便。

をんなわざ（全平）名。女ノ爲ヌ事業。

をんな・ぶり（第五上）名。

をんな・わざ（全平）名。

△をんの・ざ（……）名。（穩の座）ざえんのざ參考。

をんばう（《第三ホ》《全平》名。（温苞）綿イレ。■獄ノ一。寒氣厳イ處。—青蓮華地獄。

をんばつら（第一上）名。（嗢鉢羅）梵語。地獄ノ一。

をんびん（全平）根。（穩便）字音。手段ナド、オダヤカデアルコト。

をんりう（……）名。（温溜）漢語。腕ノ背部

をんりゃう（《第二リョ合》《第一上》名。（怨靈）字音。死靈ノウラミ。

をんりゃう（《……》《全平》名。（温涼）■温ト涼ト。

をんりゃう（《……》《……》根。（……良）漢語。ス

ナホ。

△をんな・うつき（第三上）名。

△をんな・を（……）名。（遠流）字音。シマナガ

をんは・ひでり（第四上）名。漢語（一）氣象ガ

をんな・ぶり（第五上）名。

をんな・べや（全平）名。（一）

スベテ、女ノ居ル室。—圍房。

○をんなめ（第三上）名。をむなめノ音便。

をんなわざ（全平）名。女ノ爲ヌ事業。

○をんち（……）根。（温遅）漢語。運緩。■タキ。

をんてき（……）名。（怨敵）漢語。温イ程度。

をんど（全平）名。（温度）漢語。温イ程度。

をんどり（……）名。ヲトリ（雄鳥）ノ轉。

をんな（第三上）名。（女）（一）をみなノ音便。

（二）婦。■婦人。■婦女。■女子。■女性。■女人。■メ。■メノコ。—ヲウナ。—ヲナゴ。（二）下女。（三）色ヲンナ。◎女ニナル—（月經ノ道ガ通ジ始メル）。◎女ヲコシラヘル—（情婦ヲ持ツ）。■り」上古、女ノ位ノ稱。

△をんなかうむり（《第四コ》《第四上》名。（……冠

をんなが・さ（《第四ガ》《……》名。實體頗迄流行シタ婦人ノ笠—塵塚物語「をんながさトテ菅ニテ大キク、飛脚ノ三度笠ヤウナルヲ用井タリ。紐ハ後ロノ方ヲ輪ニナシ、髻ノ下ヘ掛ケ、頷ノ下ニテ結ブナリ」。

をんながた（……）《全平》名。女ニ打扮ッ俳優。處女ニノミナルノヲむすめがた（小旦）、專ヲをんながたノ主トナルノヲたてをやまトイフ。■旦。—ヲヤマ。

をんなかづら（第四上）名。（女葛）川莒。—

△をんなが・み（《第四カ》《……》名。神女。

をんなかみゆひ（《第七イ》《……》名。婦人ノ髪ヲ結フ婦人（塵塚物語）。

をんなぎらひ（《第四キ、第六イ》《……》根。婦人ニ近ヅクノヲ好マヌコト（男ガ）。

をんなぎれ（第五上）名。

をんなぐさ（《第四ク》《全平》名。（女露）ニヨヅミ。■ハ。—女兒（……）婦女又ハ小兒。

△をんなわらは（《第六ワ》《第四上》名。（女童）

をんなわらべ（……）名。（……童）（一）メノワラ

をんなゑ（全平）名。美人ノ畫。—美人畫。

をんねん（第一上）名。（怨念）字音。怨ミノ念。—マウヂン。—ウラミ。

△をんの・ざ（……）名。（穩の座）ざえんのざ參考。

をんばう（《第三ホ》《全平》名。（温苞）綿イレ。■獄ノ一。寒氣厳イ處。—青蓮華地獄。

をんばつら（第一上）名。（嗢鉢羅）梵語。地獄ノ一。

をんびん（全平）根。（穩便）字音。手段ナド、オダヤカデアルコト。

をんりう（……）名。（温溜）漢語。腕ノ背部

をんりゃう（《第二リョ合》《第一上》名。（怨靈）字音。死靈ノウラミ。

をんりゃう（《……》《全平》名。（温涼）■温ト涼ト。

をんりゃう（《……》《……》根。（……良）漢語。ス

ナホ。

△をんな・うつき（第三上）名。

△をんな・を（……）名。（遠流）字音。シマナガ

をんは・ひでり（第四上）名。漢語（一）氣象ガ

をんな・ぶり（第五上）名。

をんな・べや（全平）名。（一）

スベテ、女ノ居ル室。—圍房。

○をんなめ（第三上）名。をむなめノ音便。

をんなわざ（全平）名。女ノ爲ヌ事業。

名。（……奉行）徳川時代、諸國ノ都會ニ置イタ奉行。

△をん・ぎ（……）名。エンノザ。■—物シリゾサ。

をん・じ（……）名。（遠志）漢語。ヒメハギ。

○をん・しう（全平）名。（怨讐）漢語。怨敵。

をん・じう（……）根。（温柔）漢語。モノヤハラカ。—心地ヨク柔カイコト。

をんじう・きやう（《第五、六キョ合》《第三上》名。（……郷）（一）色里。（二）圍房。

をん・しつ（全平）名。（温室）漢語。（一）温イ室。（二）ムロ。

◎をつ（……）《第一上》名。（英語 Watch）タヲヲ。

をつと（……）《第一上》名。をとこ。

をつと・せい（……）《第二上》名。（温厚）漢語。原来、腥肉獣ノ臓ト、勢ト、畢丸トノ稱。滋強剤。◎（胞胎獣）（前ノ語カラ通ジテ）海獣。北海ニ居、形チもしかニ似、全身ノ毛殆ド黒イ。—ウニウ。

▲をん（……）名。を（雄）ノ音便。

をん（……）名。漢語。◎（温）（一）アタタカサ。—アタタカイ（普通ニ熟語トシテモ用ヰル）。■質、オトナシク人ニ忤ラハヌコト。

◎（……）◎（瘟）疫病（……）—（瘟疫）。

（……）◎（瘟）疫病（……）—（瘟疫）。

◎（……）◎（瘟）疫病神。（瘟鬼）

■物學デ。—温血動物。

漢語。◎疫病神。（瘟鬼）

■物學デ。—温血動物。

をん・がく（《第三ガ》《第三上》名。（……音）漢語。

■ヌヅキル。

をん・がん（《第三ガ》《第三上》自動、四段。（温血）字音。温イ血動

をん・がん（《第三ガ》《第三上》名。（……音）漢語。

■ヌヅキル。

をん・がん（《第三ガ》《第三上》自動、四段。（温血）字音。温イ血動

をん・がん（《第三ガ》《第三上》名。（……音）漢語。

■ヌヅキル。

をん・げん（《第三ゲ》《第三上》名。（……言）漢語。

■ヌヅキル。

をん・こ（第一上）名。（……故）漢語。温雅忠實。

をん・こく（《第三コ》《第三上》名。（遠國）字音。

■をんこくノ人。

をん・こく（《第三コ》《第三上》名。（……、第六、七ヨ合）《……》

おくがき

日本大辭書全部の印刷愛に漸く終りを告つて獨り吾に感慨に堪へぬ。去年六月一日印刷に着手した以來今迄に凡そ一年二箇月間は全く辭書外の世と離れた。社會は義俠に富む、大辭書に敬て手を下だすといふ著者の微衷を極はめて篤く、深切に容れ、實よりは殆ど多い程の贊評を惠み、勉めて著者の意氣を鼓舞された。此効の正に有つたのは今と爲つて感信する。打ち明ければ大辭書第一卷を出した頃は未來の希望に驅られた、唯是其奴隷で、意氣昂騰、眼中何の障碍も無かつた。以來次第に卷を加へ、第五、第六の頃に至り、半年で印刷も完結すると信じた豫算美事に外れ、發兌期限の遲延を來した時の身の苦惱は、之を苦惱の初めとして以來は全身苦惱に蝕はれた。今辯解がましく一一は其苦惱の子細は言はぬ、唯多少の苦惱は豫め量つた身が猶其豫想外に夥しいのに驚いた。但し此窮厄に當たつて社會の義俠は愈厚く、豫約者は愛書を其にして豫約を變ぜず、批評家は毎卷の發兌に愈著者を奬勵する、願ればかゝるといふ無二の幸福も有り、中夜窃に身の不測の僵仆を思へば、忽然として其魔障をも厭はうその勇氣も附く。朝七時から原稿校正などに着手して夕六時まで續け、日暮から漫步して夜十時頃に机に對して必ず夜半一時までは寐ず、又同じ事を繰り返す、之で身は常に愉快を得た。去年以來の一年間を數言で括れば上のとほり、歸する所は著者と反對の方面に在るものの、此辭書編纂事業の上に明きらかに一體の勞を加へた事であつた。誰んで著者は之を社會に謝すると同時、此著者が身に似ず負つた恩遇を必らず數年の後ちは社會に酬いるに至り、此辭書第一回の版を更に改めて、所謂眞正の改版の曉には吾も人も遺憾無い物を編みたい存念、敢て之をば社會に誓ふ。

特に此書のために著者を佐けられた恩人の名を紀念として爰に記せば中根淑、戸川殘花、德富猪一郎、塚原渋柿園、服本善治、武田仰天子、畠山健、鳥居忱、小山作之助、韮木善道、伊澤修二、田山宗堯、岡野碩、坪内逍遙、鹽原雲村、田口鼎軒、森鷗外、齋藤緑雨、近江の市川平太郎、横濱の半田竹吉、熊本の堀口廣助、遠江の大平慎一、周防の高橋爲吉、佐渡の矢田求、信濃の小林芳三郎、堺の三坂絅、播磨の菅原雅輔等の諸氏、是等皆或ひは批評、或ひは助言、或ひは材料を送附された。獨り材料のみ贈られた熱心な人は越後の田中勇吉、美濃の服部撫峯、尾張の山田米三郎、神戸の大賀諺吉、岩代の青山正等の諸氏、其他各位で、是等諸氏の中には著者と一面識の無い人も多く有つた。本文編纂事業に關係した人、其一は速記者大川發氏、是は本文の初めから著者が口授する原稿を速記して完結に至るまでの勞を惜らず、其二は岡田榮吉氏、是は第一高等中學校に在つて研學の餘暇、本書第四卷以前、及び終來の遲の按合を助け、並びに音調按正の責めに任じ、其三は大川秋水氏、是は按合の大半、特に言語配列等の衝に當たつた。附錄の原稿の執筆は地名彙、日本古文法、歌枕、日本人名彙の四種が岡田榮吉氏、支那、西洋人名彙が大川秋水氏、此附錄に速記者の手は入らなかつた。

以上すべて修飾を加へぬ事實で、爰に印刷着手以來の時日を算へれば、其着手は昨廿五年の六月一日、以來一日も製版、按合、原稿編製、速記口授等を休まず、爰に本年八月卅一日を本文印刷終結の日として正に一箇年と二箇月に及んだ。本文一千四百頁とし、之に字を滿たすとして、一頁の字數二千一百、即ち一千四百頁の全局では正に二百九十四萬字の多數を包括する。本文印刷の第五號活字は殆ど十字を一直線に並べて曲尺一寸二分に當たる所で、一寸二分の五十倍即ち六尺(一間)の一直線を造るには此五號活字五百箇を要する比例である。然るに本文の字數は二百九十四萬有る、之を一直線に積めば即ち三百五十八尺——日本第一の高山富士の高さの三倍で、而も世界第一の高山、印度のヒマラヤより猶五千尺も高くなる。十行二十字の罫紙の原稿として全體殆ど七千三百五十枚一時間に四枚を淨書するとして其淨書期限一千八百三十七時間餘、況んや一旦之を速記する時間も加はる、言語を配列する勞も有る引用探究の勞も有り、之を如何に勘なく見ても、直接著者は一枚の版面を前後四回、即ち言語を配列して一回、速記口授の時一回、按合の時二回通讀した次第で、推し廣めて云へば、原稿七千三百五十枚の四倍(と行かぬにしろ)或ひは三倍の紙員を檢閲しただけの事實は確かにあつた、之を以つて完結に際しての感懷の要を摘まんで謹んで之を一般の恩人に謝し、併はせて他日の再圖を契る。他日の再圖に關して讀者に對する義務に期することは他日再圖の時、又昨日と同じ恩人各位に昨日と同じ親愛で見みえやうとの念ばかり、終りに臨んでいとゞ名殘りは深し、巻しく各位の清福を祈る。

明治廿六年八月三十一日

山田美妙

明治二十六年十二月五日印刷
同　年十二月八日發行

速記者　大川發　府下本郷區新坂町八十番地

〔第拾卷〕〔定價金四拾錢〕

東京府士族
編纂兼發行者　山田武太郎　府下神田區平永町九番地
印刷者　田中正造　同　同錦町三丁目一番地
印刷所　同志社活版所　同　同錦町三丁目一番地
發行所　日本大辭書發行所　東京市神田區平永町九番地山田美妙方
同　書肆明法堂　同神田區裏神保町七番地
特約發賣所　書肆文昌堂　同　日本橋區大傳馬町二丁目二十二番地
同

版權所有

●内に發行者●
●の姓名を●
●捺印無き●
●ものは偽版●